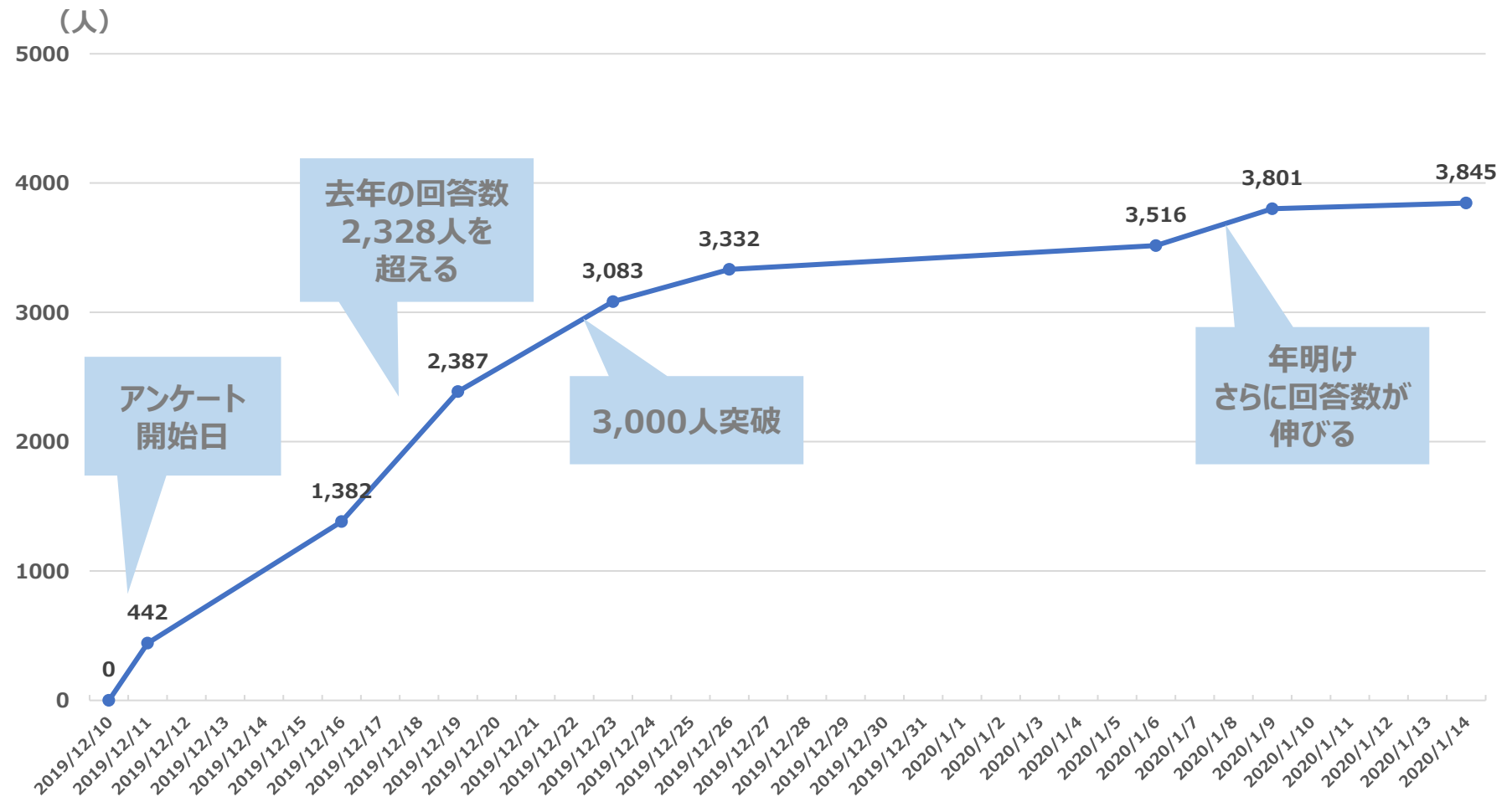


働き方調査 報告書

奈良県教育委員会
(奈良県立教育研究所)

最終回答者数

アンケート開始2週間で3,300人超からの回答



目的と実施概要

I. 目的

- 教員の働き方の課題把握

II. 調査方法

- アンケート画面URL送信によるWebアンケート

III. 対象者

- 回答者数 3,845名 ※属性毎の回答者数は次頁に記載

IV. 集計対象データ

- 2019年12月10日 ~ 2020年1月10日

※昨年結果を★マークで記載しております

※ポジティブな内容・昨年より良化した内容は青、ネガティブな内容は赤で記載しております

属性別回答数一覧

	全回答者	部活顧問		役職			担当の有無 (学年主任、〇〇部長など)		担任		
		顧問あり	なし	管理職	常勤の教員	非常勤の教員	担当している	していない	主担任	副担任	していない
小学校	1,590	186	1,404	239	1,318	33	944	646	895	34	661
中学校	958	784	174	132	805	21	475	483	388	226	344
高等学校 (全日制)	838	770	68	50	779	9	275	563	297	309	232
高等学校 (定時制・通信制)	73	53	20	6	67	0	28	45	39	12	22
特別支援学校	344	62	282	14	326	4	88	256	117	143	84
その他	42	1	41	4	20	18	13	29	18	5	19
合計	3,845	1,856	1,989	445	3,315	85	1,823	2,022	1,754	729	1,362

結果の概要（全体集計）

時間の 使い方	勤務状況	学校滞在時間11時間22分 年間休暇日数時間88.3日
	自分の時間の使い方	自己学習の時間が足りない
	減らしたい業務	①事務・報告書作成 ②会議・打合せ ③保護者対応
	力を入れたい業務	①授業や学活の準備 ②学習指導 ③生活・生徒指導
スキル習得・ 情報共有	困っていること	研修・勉強の機会がとれない
	情報共有の要望	事務的な作業に関する手続き等 家庭の状況
ICT	おもな業務機器	①パソコン（専用） ②スマートフォン（私物）
	校務システムの導入状況	導入している 54%
	校務システムへの期待	異動時の負担が軽減される
	ICT活用への不安	情報漏洩
教職への 思い/ 改革意識	教職への思い	やりがいがある、誇りをもっている、 若い人に勧めたいといえない
	改革意識	働き方を変えたい 81%
	改善が難しい原因	業務量
	意見・要望	適切な人員配置、業務のスリム化が必要

目次

I. 時間の使い方

全回答者

II. スキル習得・情報共有

全回答者

III. ICTの状況

全回答者

IV. 教職への思い/改革意識

全回答者

V. 属性別の特徴

属性別

VI. 総括・ご提案

I. 時間の使い方

全回答者

II. スキル習得・情報共有

全回答者

III. ICTの状況

全回答者

IV. 教職への思い/改革意識

全回答者

V. 属性別の特徴

属性別

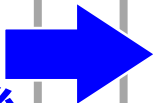
VI. 総括・ご提案

1日の生活リズム

全回答者

通常の勤務に対して

- 学校に来るのは **平均 54分前**
- 学校を出るのは **平均 1時間56分後**



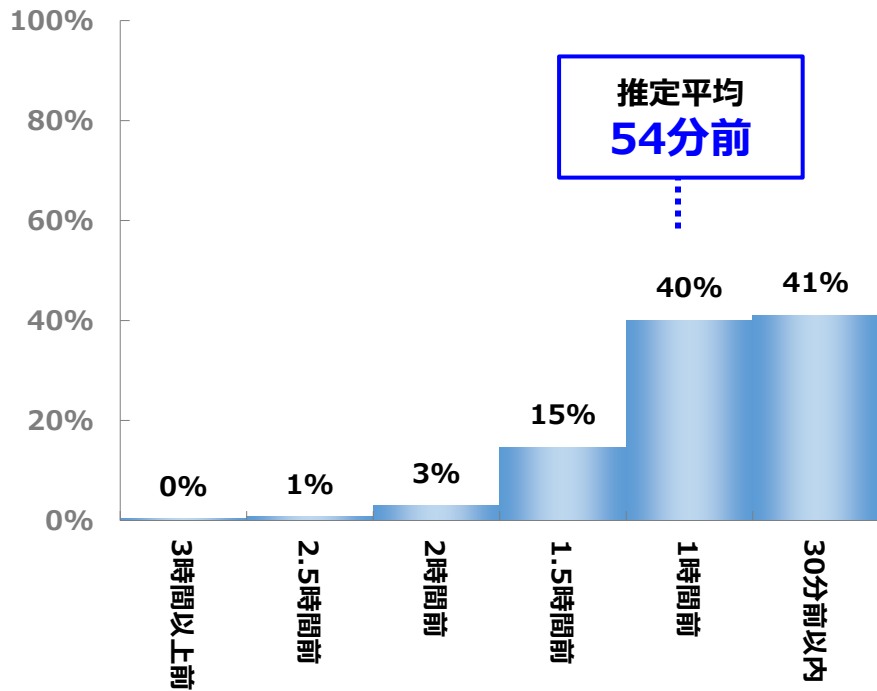
$$\begin{aligned}
 & \boxed{\text{【前】}} \quad \boxed{\text{【勤務時間】}} \quad \boxed{\text{【後】}} \\
 & \boxed{54\text{分}} \quad + \quad \boxed{8\text{時間}30\text{分}} \quad + \quad \boxed{1\text{時間}56\text{分}} \\
 & = \text{学校滞在時間 } \mathbf{11\text{時間}20\text{分}}
 \end{aligned}$$

※ここでは、非常勤の教員を考慮していません
 ※勤務時間には休憩45分を含みます

どのくらい前に学校にくるか

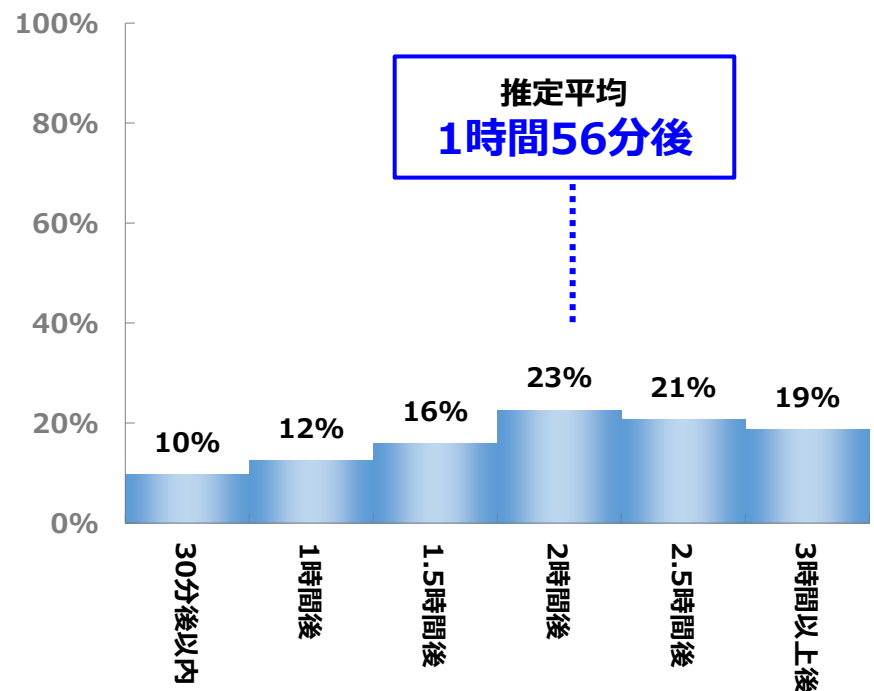
どのくらい後に学校を出るか

Q.通常の勤務時間開始よりどのくらい前に学校に来ていますか



n=3,845

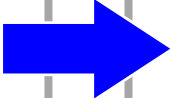
Q.通常の勤務時間終了からどのくらい後に学校を出ていますか



休暇の取得状況

全回答者

- 土日・祝日に休める日の割合 平均 **64%**
- 有給休暇の取得日数 平均 **8.6日**



年間の休暇日数
88.3日

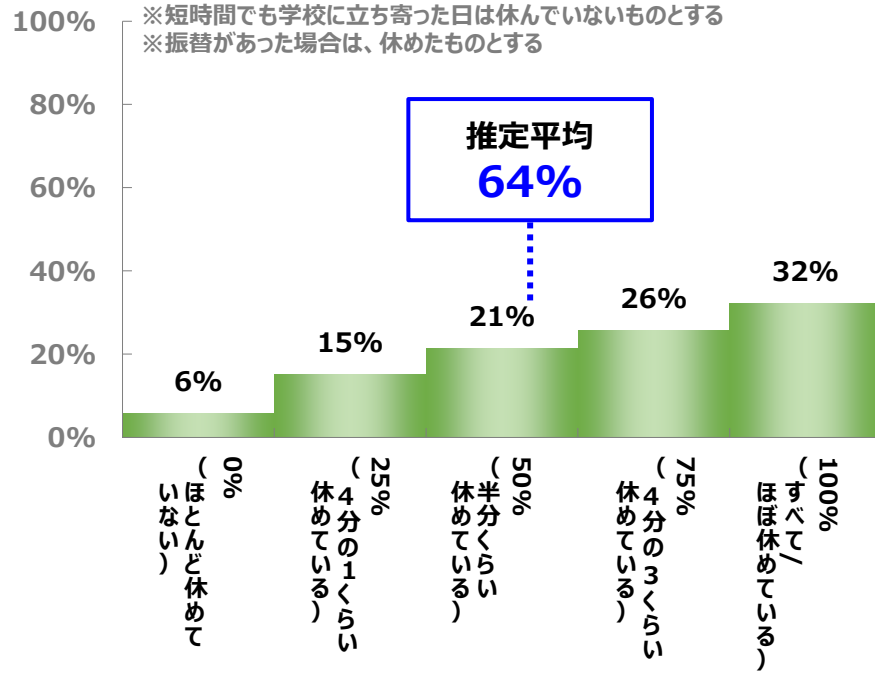
参考時間企業労働者 平均 113.7日
(厚生労働省「平成 29 年就労条件総合調査」より)

※1年の土日祝日を2019年の121日として算出

土日・祝日

Q.あなたは、土日・祝日にどれくらい休めていますか。
今年度4月から今日までの実績をお答えください。

※短時間でも学校に立ち寄った日は休んでいないものとする
※振替があった場合は、休めたものとする

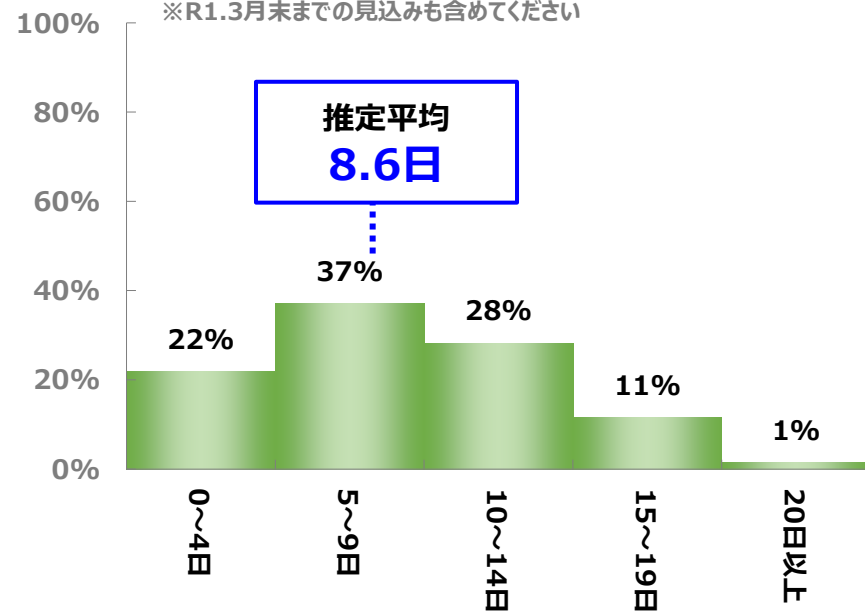


n=3,845

有給休暇

Q.あなたは、年次有給休暇をどれくらいとれていますか。
今年度4月からの実績に該当するものをお答えください。

※R1.3月末までの見込みも含めてください



出展) 厚生労働省「平成 29 年就労条件総合調査」

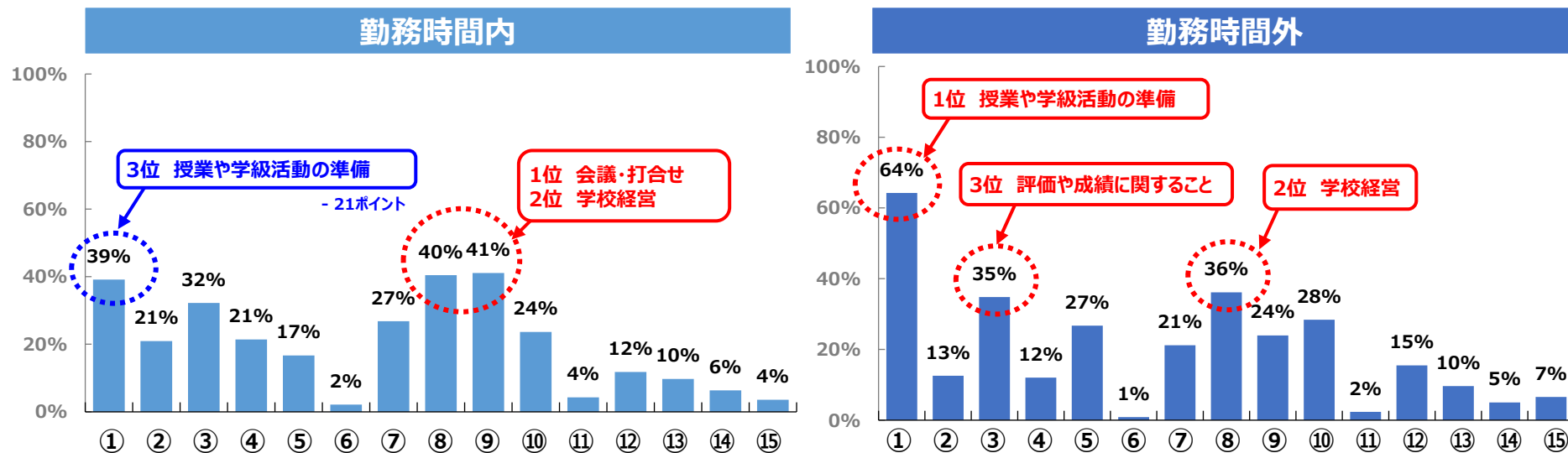
<https://www.mhlw.go.jp/toukei/itiran/roudou/jikan/syurou/17/dl/gaikyou.pdf>

長時間の活動

全回答者

勤務時間内	1位	会議・打合せ	2位	学校経営	3位	授業や学級活動の準備
	1位	授業や学級活動の準備	2位	学校経営	3位	評価や成績に関すること

Q. 授業以外で行っている活動で、かけている時間が長いものを上位3つまでお答えください。



- ① 授業や学級活動の準備（教材研究等）
- ② 学習に関する指導
- ③ 評価や成績に関すること（採点等を含む）
- ④ 生活指導・生徒指導
- ⑤ 部活動・クラブ活動の指導
- ⑥ 児童会・生徒会指導
- ⑦ 学年・学級事務（連絡帳の確認、学級通信等の作成等）
- ⑧ 学校経営（校務分掌に関すること）
- ⑨ 会議・打合せ
- ⑩ 事務・報告書作成
- ⑪ 校内研修
- ⑫ 保護者対応
- ⑬ PTA・地域・行政・関係団体対応
- ⑭ 校外出張
- ⑮ その他

n=3,845

長時間の活動（その他）

全回答者

勤務時間内

※全76回答からカテゴリに分けて抜粋

【生徒指導】

- 進路指導・受験指導
- 児童の問題事象についての指導
- 学科に関すること
- 面接練習
- 児童放課後学習
- 不登校生対応

【点検・管理・雑務】

- 実習器具の修理、作成
- 農場管理
- 学校施設設備の点検修理
- 園庭。園内整備
- 戸締りなど

【書類作成・整理】

- 学年会議資料作成
- 保護者向け文書作成
- 記録書く事、製作物
- 紙上発表の原稿・取組

【行事】

- 100周年記念行事関係
- 委嘱を受けた校外の仕事
- 市養護部会の研修

【保健】

- 医療的ケア
- 救護、健康管理業務

【連絡対応】

- 生徒、保護者への連絡
- 電話対応

【その他】

- 教員間の情報交換
- 特別支援
- 子どもの付き添い
- カウンセラー対応
- 給食の衛生管理
- 家庭訪問
- 自己研修
- 事務局長の仕事

勤務時間外

※全97回答からカテゴリに分けて抜粋

【生徒指導】

- 進路指導と推薦入試業務
- 生徒の相談
- 検定受検の対策指導
- 登校指導
- コースの活動の指導
- 面接練習

【点検・管理・雑務】

- 校内美化
- 農場管理
- 戸締り・鍵開け、準備
- 草刈り・剪定・校内清掃
- クーラー設置工事に関わって
- 掃除道具修理

【行事】

- 大会の運営
- 地域行事
- 行事の準備
- 専門的な研修への参加
- 外部団体の活動
- 社会貢献

【書類作成・整理】

- 学年会議資料作成
- 定期テストの問題作成
- 掲示物作成
- 通信作成
- 論文レポート作成学会発表

【教員対応】

- 教員の勤務時間の管理
- 教員からの相談
- 教員のトラブル
- 職員の困難に対するフォロー
- 教員間の情報交換

【保健】

- 主治医面談
- 健康管理業務
- 健診準備

【その他】

- 家庭訪問
- カウンセラー対応
- 生徒の情報交換

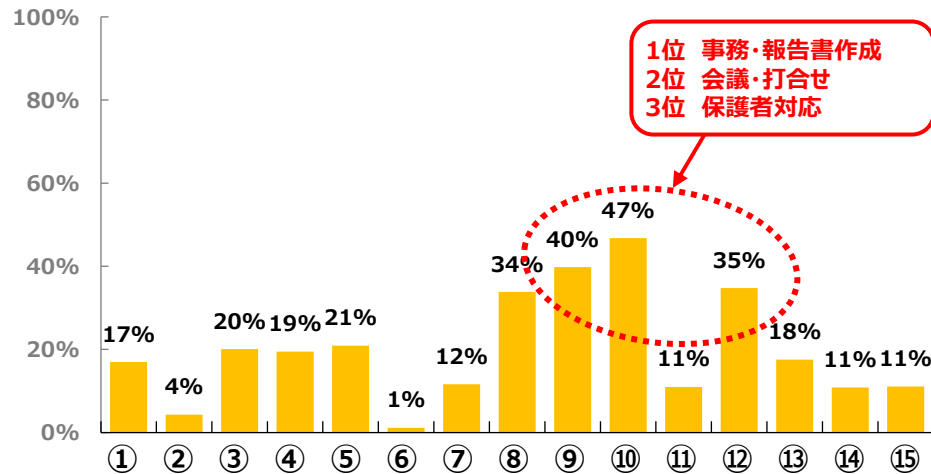
負担感がある・減らしたい活動

全回答者

負担感がある	1位 事務・報告書作成	2位 会議・打合せ	3位 保護者対応
減らしたい	1位 事務・報告書作成	2位 会議・打合せ	3位 保護者対応

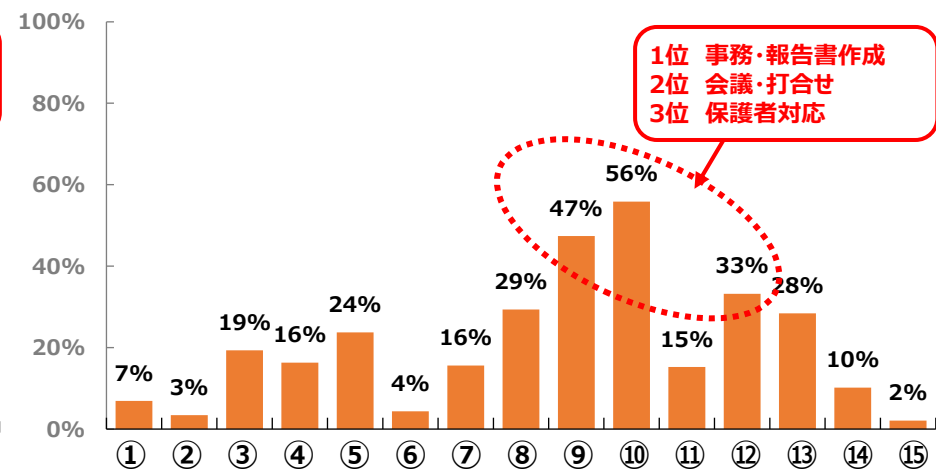
負担感がある業務

Q. 授業以外で、負担を感じている活動を上位3つまでお答えください。



時間を減らしたい業務

Q. 負担や時間を減らしたいと思う活動をすべてお選びください。(いくつでも)



- ①授業や学級活動の準備（教材研究等）
- ②学習に関する指導
- ③評価や成績に関すること（採点等を含む）
- ④生活指導・生徒指導
- ⑤部活動・クラブ活動の指導
- ⑥児童会・生徒会指導
- ⑦学年・学級事務（連絡帳の確認、学級通信等の作成等）
- ⑧学校経営（校務分掌に関すること）
- ⑨会議・打合せ
- ⑩事務・報告書作成
- ⑪校内研修
- ⑫保護者対応
- ⑬PTA・地域・行政・関係団体対応
- ⑭校外出張
- ⑮その他

n=3,845

負担感がある業務（その他）

全回答者

回答抜粋

※全141回答からカテゴリに分けて抜粋

【事務・雑用】

- 教員の勤務時間の管理
- 学級費の出納
- 書類整理
- このようなアンケート
- 定期テスト問題作成
- 学校統合の会議や資料作成
- 推薦入試、奨学金等の業務
- 文書の作成
- 担当外の学年事務
- 雑用
- 芝の管理
- 電話対応
- 校内環境整備
- 授業後の片付け
- 草刈り・剪定・校内清掃
- 校地内の剪定、草刈りなど
- 学校施設設備の点検修理
- PC環境整備
- 戸締りなど

【行事・校外出張】

- 部活動競技団体の仕事
- 特別行事の企画等
- 地教委との往復
- 休日の出張、地域行事
- 校外での各種の委員会・理事等の業務
- 部活の県の役員の仕事
- 行事や発表の内容の企画
- 学年行事
- 出張、休み教員の補充
- 奈良市主催の休日の校務
- 勤務時間外PTA会議

【教員間のこと】

- 若手教員の指導
- 職員の仕事の終わりを待つこと
- 他の教員の業務のフォロー
- ICT関連の生徒教員へのサポート
- 動かない教諭のかわりにする仕事
- 教職員対応
- 職員管理
- 教員のトラブル
- 管理職のいじめ、パワハラ
- 同僚の過失の補填
- 管理職からのパワハラ

【生徒対応】

- 進路関係
- 朝の通学指導
- 清掃指導
- 検定補習
- 児童の登校支援
- カウンセラー対応
- 宿泊学習
- 授業前の準備
- 奇人指導（進路）

【その他】

- 臨時講師を探す
- 現場を理解していない教委の企画する研修
- 学校統合に関わる保護者対応
- 来客対応
- 人間関係の構築
- 人事

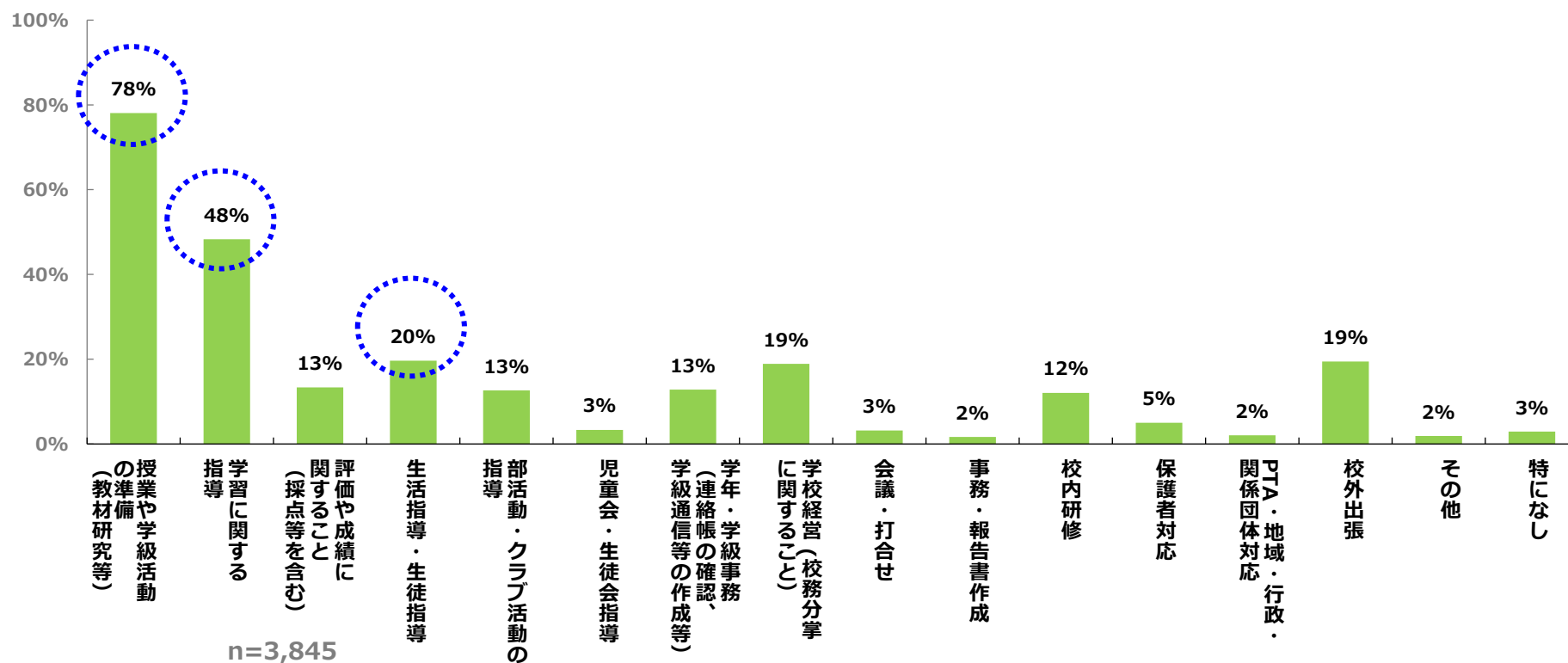
力を入れたい活動

全回答者

上位の活動

- 1位 授業や学級活動の準備（教材研究等） 78%
- 2位 学習に関する指導 48%
- 3位 生活指導・生徒指導 20%

Q.下記のうち、あなたが力を入れたい、もっと時間をかけたいと思う活動をすべてお選びください。(いくつでも)



I. 時間の使い方

全回答者

II. スキル習得・情報共有

全回答者

III. ICTの状況

全回答者

IV. 教職への思い/改革意識

全回答者

V. 属性別の特徴

属性別

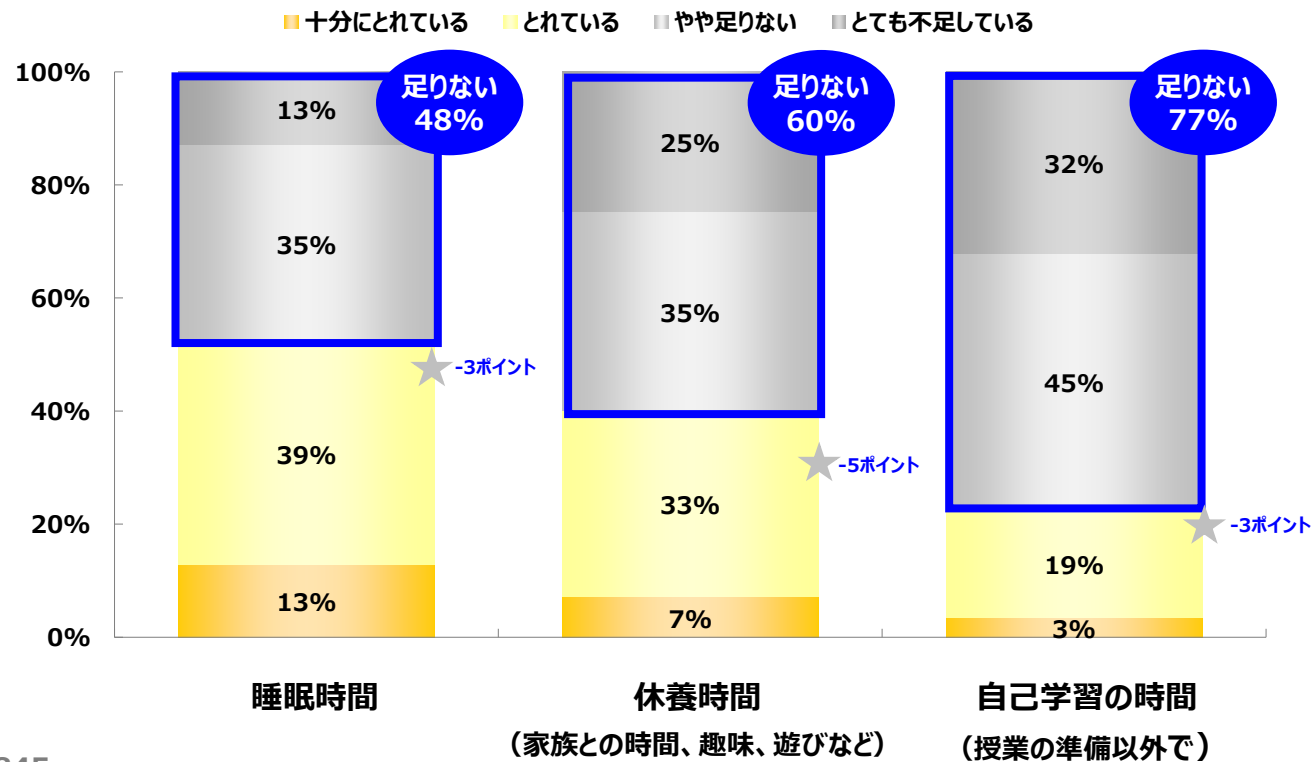
VI. 総括・ご提案

自分の時間の使い方

全回答者

- 自己学習時間が不足している **77%**
- 休養時間が不足している **60%**

Q. あなた自身の時間の使い方についてどのように感じていますか。



n=3,845

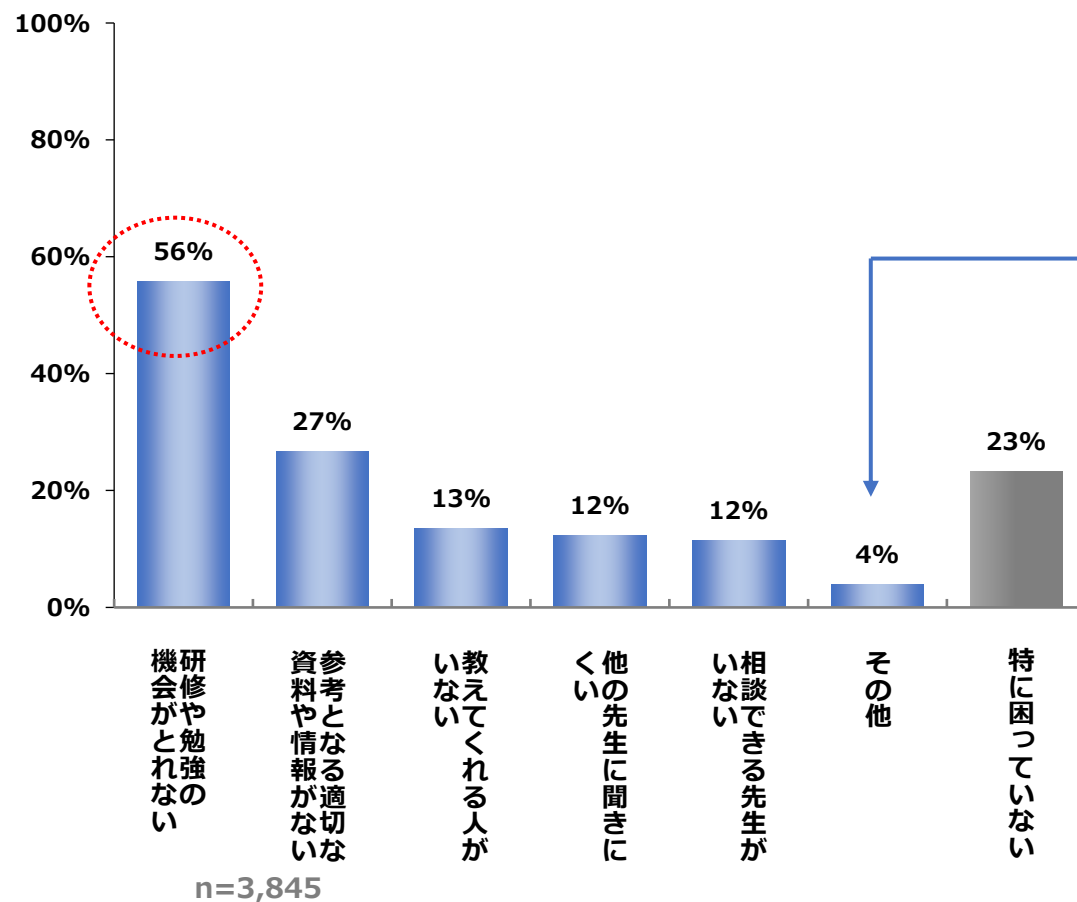
スキル習得で困ったこと

全回答者

➤ **研修や勉強の機会がとれない** **56%**

※全57コメントから抜粋

Q. あなたが各種スキルを身に付けるときに、困っていることをすべてお選びください。(いくつでも)



その他

【時間がとれない】

- 時間の確保が困難。
- 日常の業務が多く、時間がない。
- 現場を離れる余裕や時間がない。現場を離れている時に限って生徒指導上の問題が発生することが多い。
- せっかく研修等があっても、空き時間がほとんどなく、学級を開けてどなたかに頼んでまで見に行くことができない。
- 日々追われて気持ちの余裕がなく、研究ができない。

【環境・費用】

- 同じ教科の教師が居ない。
- 書籍購入、研修の費用。
- 形式だけの指導で実践的な指導が欠けている。
- 身近な理想的なメンターがいない。
- 過去の蓄積データ・引き継ぎが少ない。

【職場の雰囲気・人間関係】

- 相談する精神的・時間的余裕が職場に乏しい。
- スキルアップをすることに周囲の目が冷たい。
- 教えてもらうことに気が退ける。

【その他】

- 相談する先生によって方針がバラバラであり、絶対的な正解はないところ。
- エネルギーが残っていない。
- あるレベル以上はセンスの問題だと思う。
- 子どもによって必要なスキルが違うこと。

スキル習得の手段

全回答者

おもな習得の手段

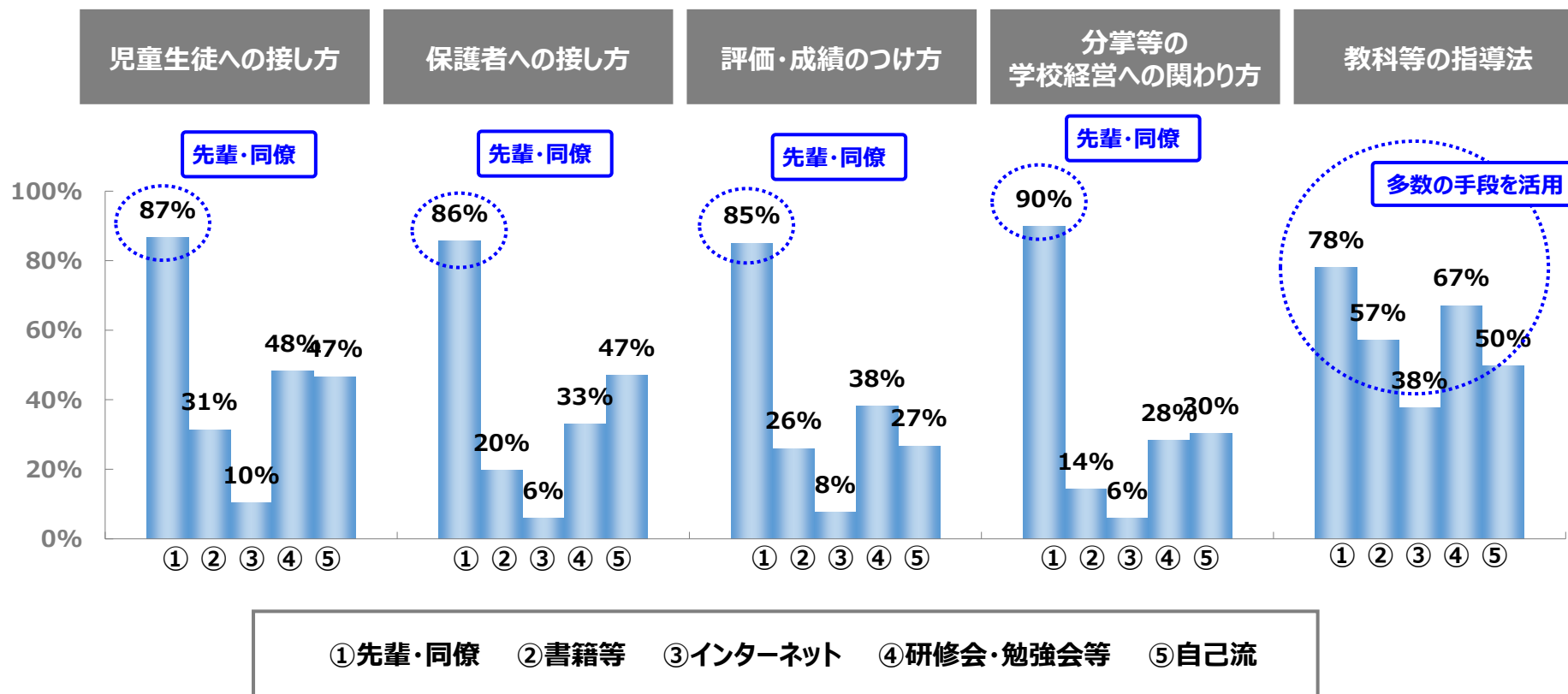
➤ 全般

➤ 教科等の指導法

先輩・同僚が中心

先輩・同僚、研修会・勉強会、書籍 など

Q. 各種スキルについて、あなたが身に付けた方法をすべてお選びください。（いくつでも）



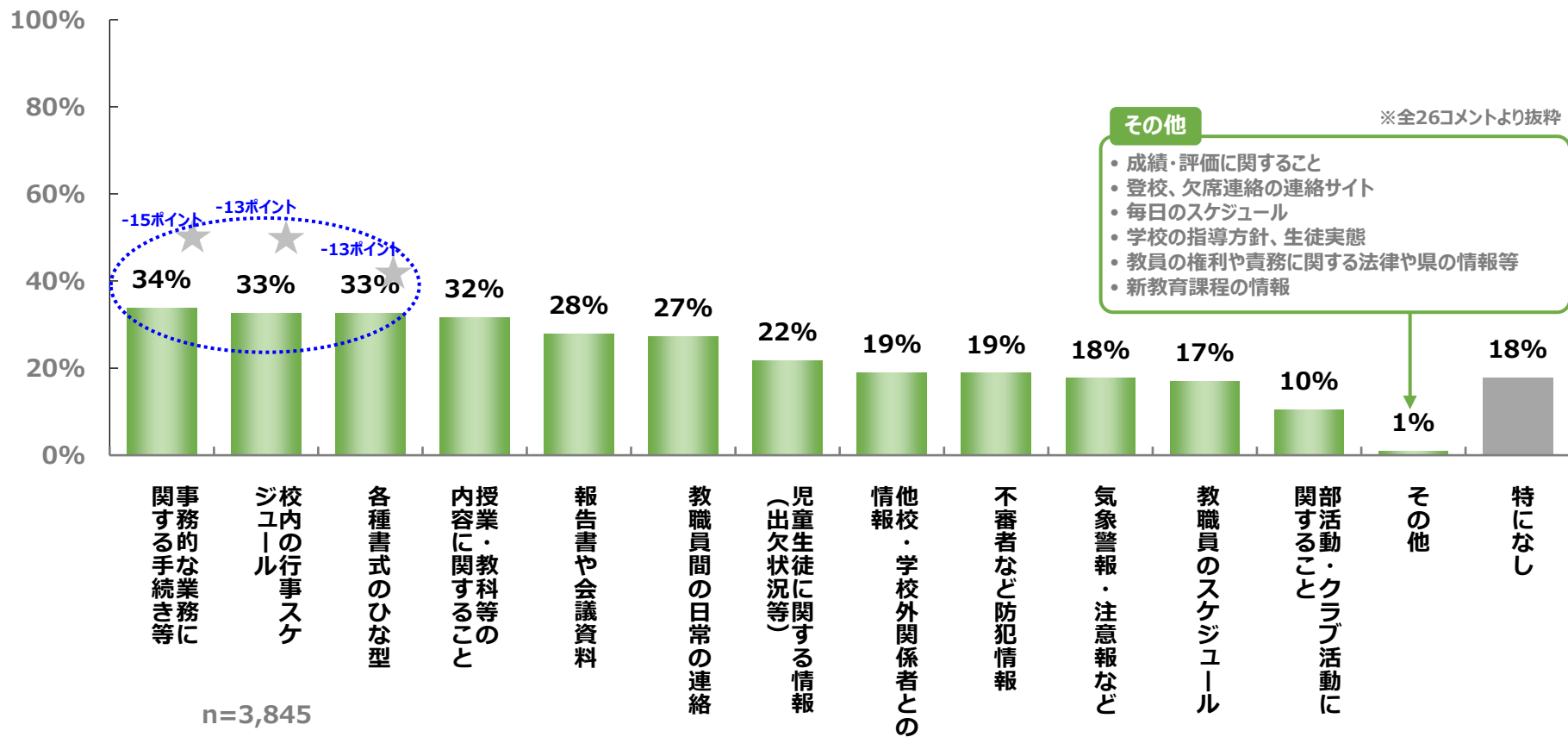
n=3,845

情報共有を強化してほしいこと（校務全般）

全回答者

- 事務的な作業に関する手続き等 **34%**
- 校内の行事スケジュール **33%**
- 各種書式のひな形 **33%**

Q. いつでもどこでも確認できるなど、情報共有を強化してほしいものがあれば、すべてお選びください。（いくつでも）

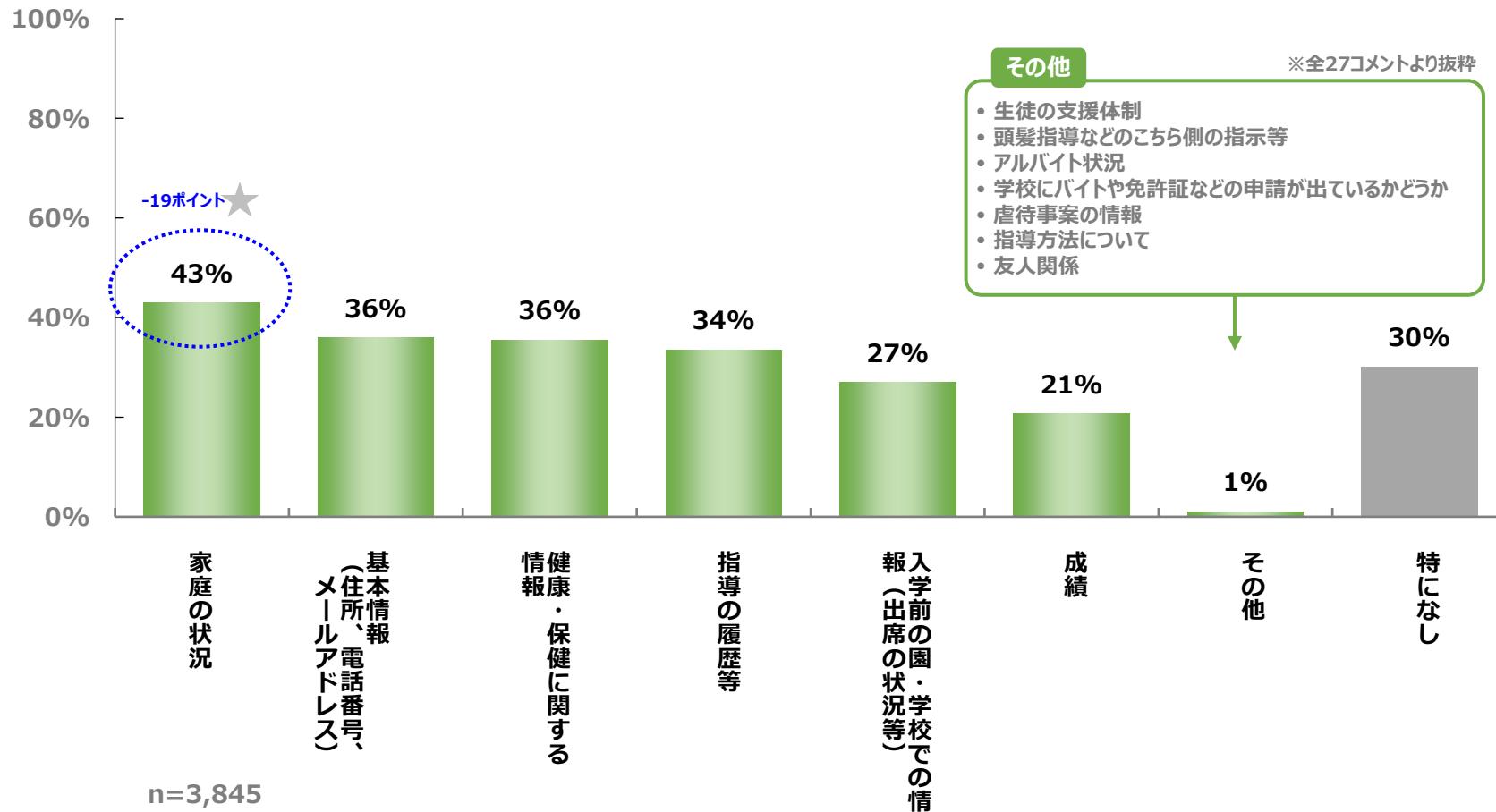


情報共有を強化してほしいこと（生徒の情報）

全回答者

➤ 家庭の状況 **43%**

Q. いつでもどこでも確認できるなど、情報共有を強化してほしいものがあれば、すべてお選びください。(いくつでも)



I. 時間の使い方

全回答者

II. スキル習得・情報共有

全回答者

III. ICTの状況

全回答者

IV. 教職への思い/改革意識

全回答者

V. 属性別の特徴

属性別

VI. 総括・ご提案

業務に利用している機器

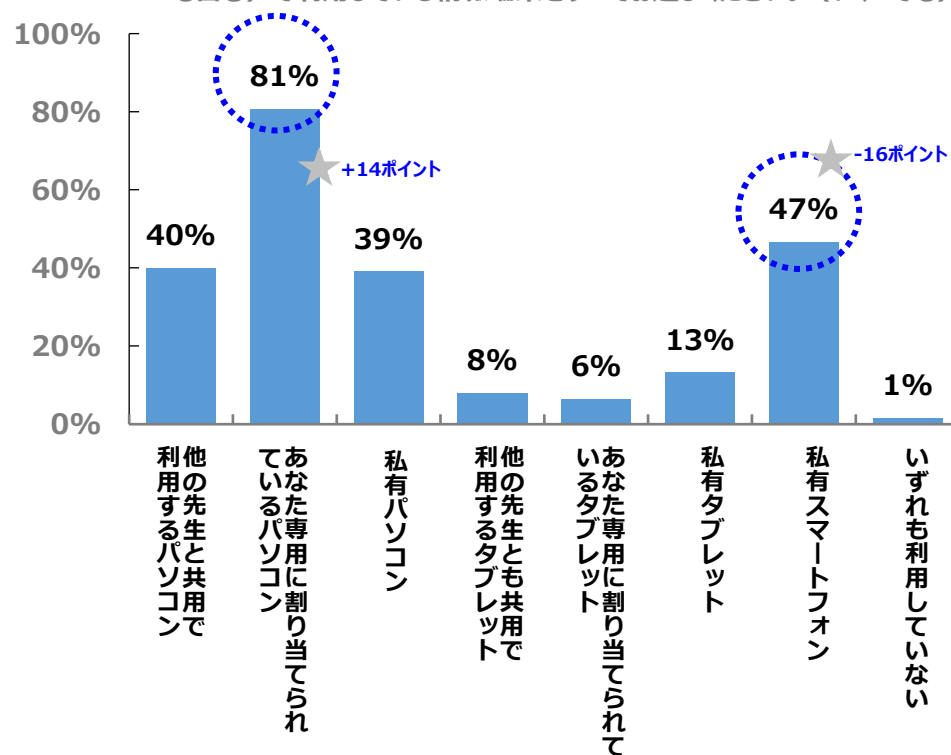
全回答者

おもな利用機器

- あなた専用割り当てられているパソコン **81%**
- 私有スマートフォン **47%**

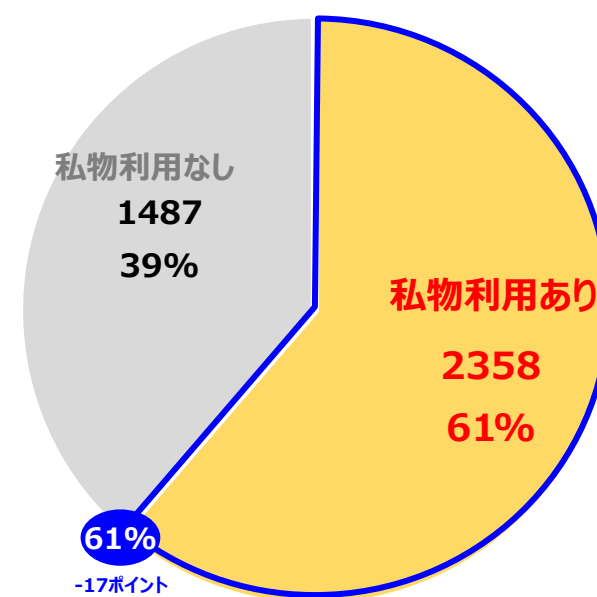
業務に利用している機器

Q. 校内・校外を問わず、学校教育に関わる業務（児童生徒や家庭との連絡も含む）で利用している情報端末をすべてお選びください。（いくつでも）



n=3,845

私物機器の利用率

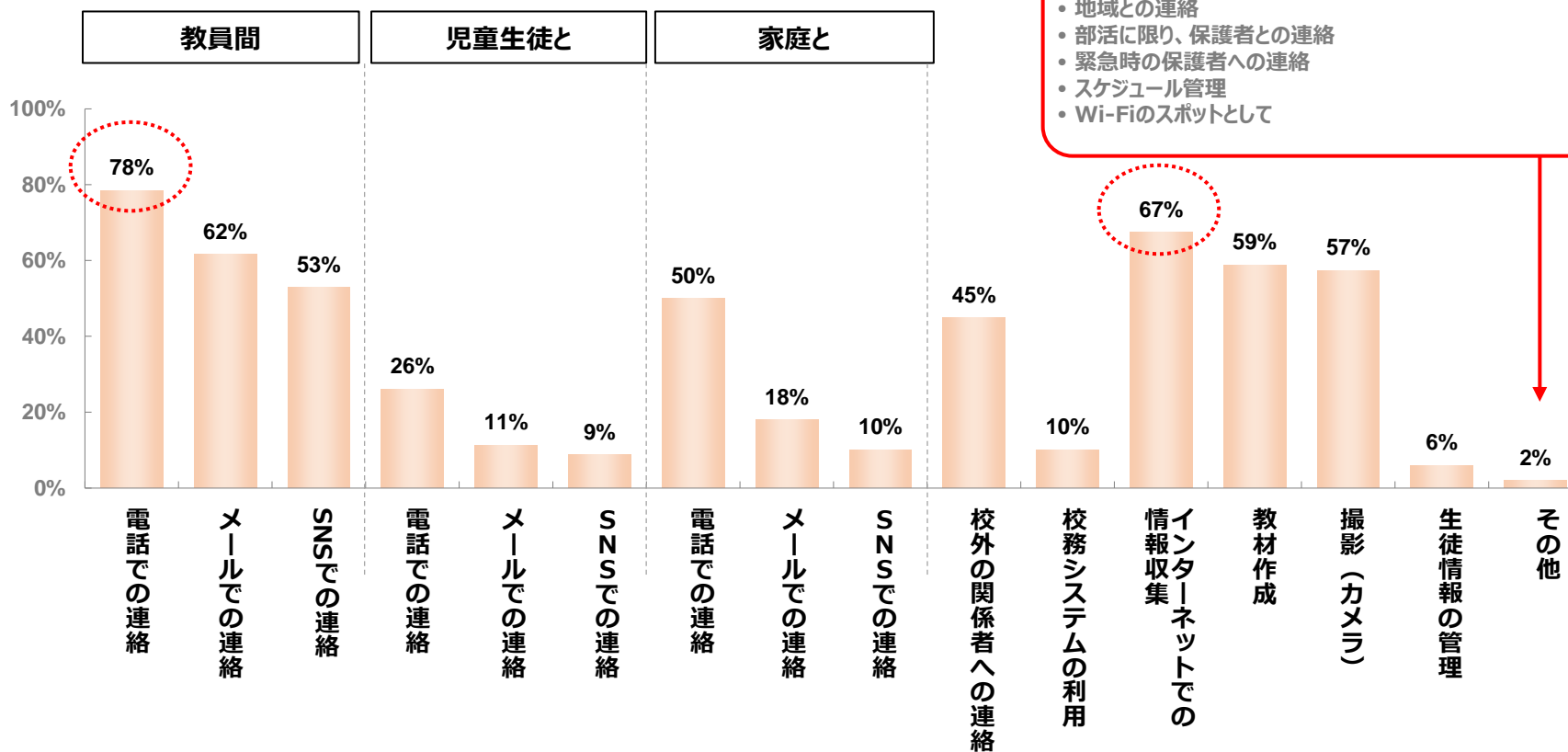


私物機器の用途

私物利用者

- 電話での連絡（教員間） **78%**
- インターネットでの情報収集 **67%**

Q. 私物の機器を業務利用する際の内容をすべてお選びください。(いくつでも)



- その他 ※全39コメント
- 授業等でのプレゼンテーション、Office365の利用
 - ICT教材として使用
 - 授業での利用（ミラーリング機能を使った図や表などの提示など）
 - 事務全般、校外の教育業務
 - 発表原稿作成
 - 定期テストの作成
 - 学級・学年通信の作成
 - 地域との連絡
 - 部活に限り、保護者との連絡
 - 緊急時の保護者への連絡
 - スケジュール管理
 - Wi-Fiのスポットとして

n=2,358（私物利用者）

統合型校務支援システムの利用状況

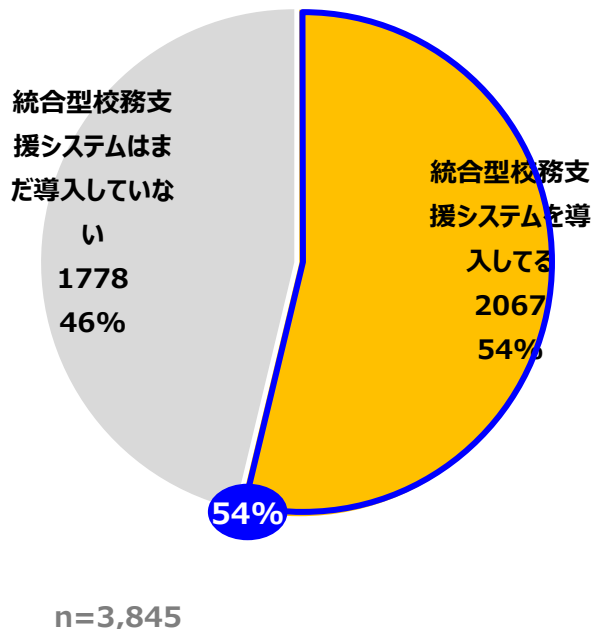
新

全回答者

- 統合型校務支援システムを導入している **54%**
- 導入している学校の利用頻度
1週間に1回以上利用している **74%**

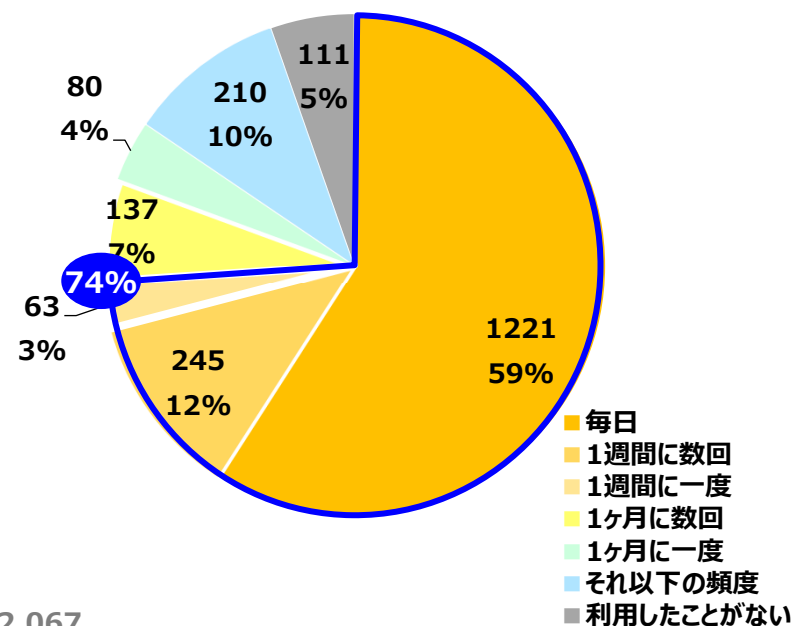
統合型校務支援システムの導入有無

Q. あなたが主に勤務している学校では統合型校務支援システム（グループウェアのみの利用は含みません）を導入していますか。以下「統合型校務支援システム」に関する回答は、グループウェア機能も含めてお答えください。



統合型校務支援システムの利用頻度

Q. 統合型校務支援システムの利用頻度をお選びください。



※統合型校務支援システムを導入している方

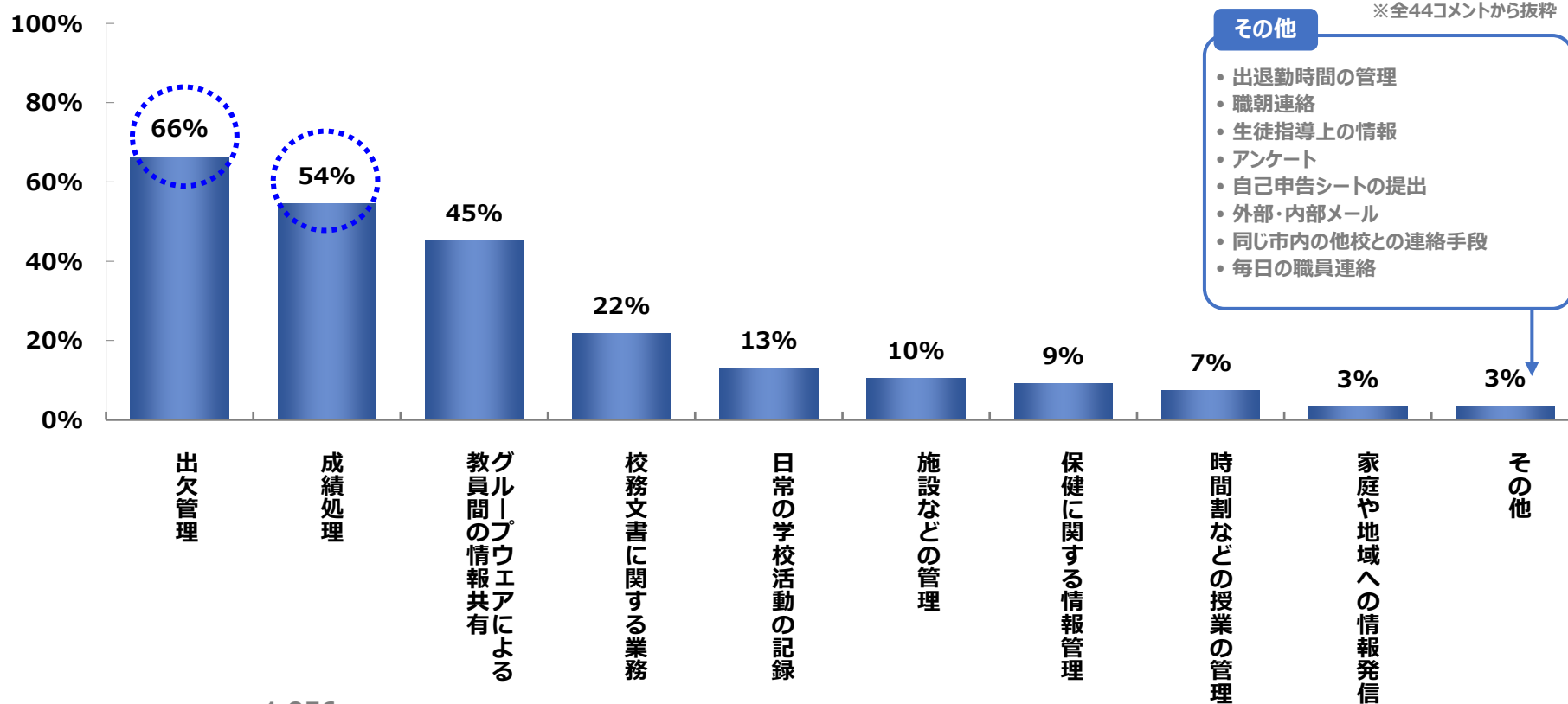
統合型校務支援システムの利用機能

新

全回答者

- 出欠管理 66%
- 成績処理 54%

Q.統合型校務支援システムで利用している機能をすべてお選びください。(いくつでも)



n=1,956

※統合型校務支援システムを利用している方

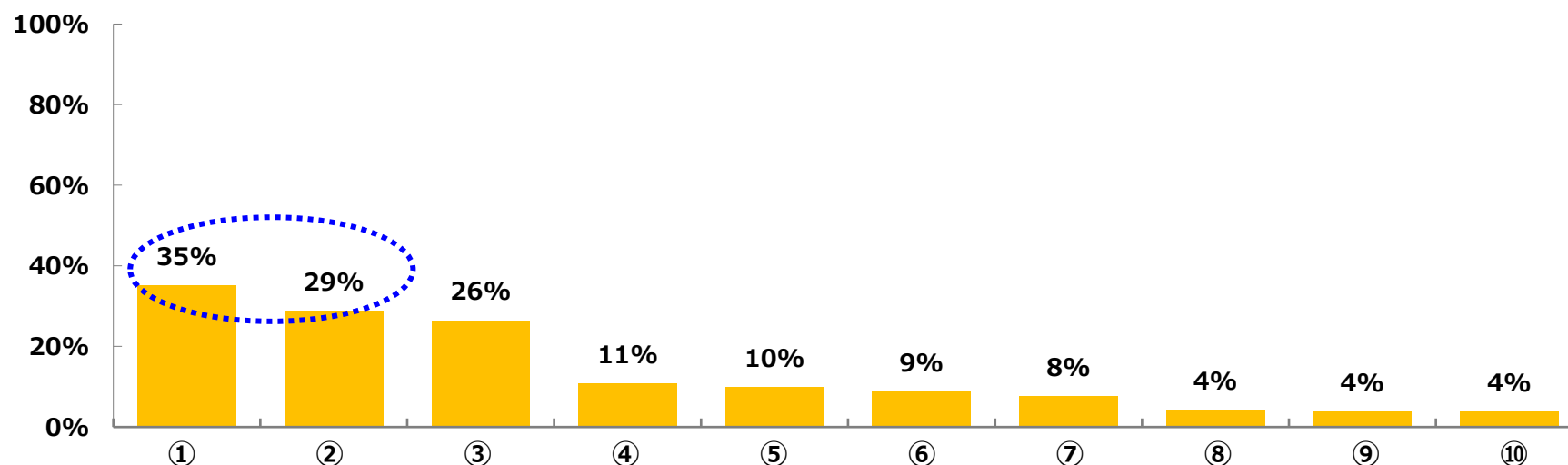
統合型校務支援システムの利用効果

新

全回答者

- 出席や学籍に関する情報共有ができ、児童生徒の指導に活かせるようになった **35%**
- グループウェア等で情報を共有でき業務負担が軽減した **29%**

Q.統合型校務支援システムを導入してよかったこと、便利になったことは何ですか。あてはまるものをすべてお選びください。（いくつでも）



- ①出席や学籍に関する情報共有ができ、児童生徒の指導に活かせるようになった
- ②グループウェア等で情報を共有でき業務負担が軽減した
- ③校務系ネットワークの運用により学校のセキュリティが向上した
- ④帳票等が平準化されたので教務に関する準備段階の業務が改善された
- ⑤学校外との連絡業務が改善された
- ⑥学力をすぐに把握できるので、成績変化に応じた指導が可能になった
- ⑦各教科の評価について、教員間で理解を深めることができるようになった
- ⑧業務の平準化により、教育の質の向上ができた
- ⑨担任と担任以外の職員のコミュニケーションが以前より深まった
- ⑩教材研究など本来の業務にウエイトを置くことができるようになった

n=1,956

※統合型校務支援システムを利用している方

統合型校務支援システムの利用効果

新

全回答者

Q.あなたが実感している統合型校務支援システムのメリットや、システムの導入がきっかけで校内の業務改善が進んだ点について教えてください。

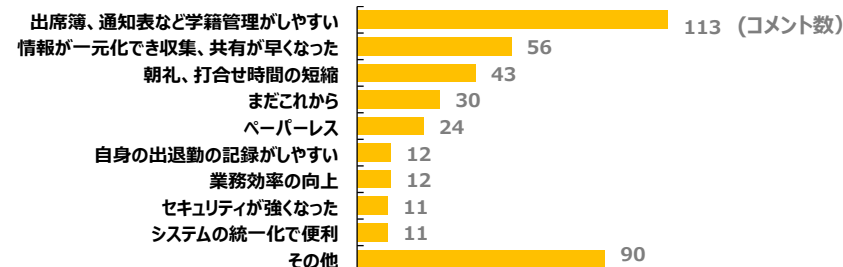
※全147コメントより抜粋

小学校

- 成績が非常に簡単で間違いがなくなった！
- 教職員間の情報共有・伝達が容易。
- 会議の日程調整をするのに、スケジュールを把握しやすかった。
- 些細なことでも共有ボードをつかって連絡できる。
- 校内で保存されたデータについては、職員全員が見れることから、情報の共有がしやすい。
- 職員朝礼や終礼の時間が大幅に短縮されたこと。
- 朝の打ち合わせの時間が短くなって、教室に行くのが早くなった。
- システムが導入されたばかりで、メリットはまだ実感できていない。
- 使い方に慣れると、業務の効率化になるかも。
- 移行期にあり、今は大変だが、完全に導入されたら便利かと思う。
- 会議で配布する紙媒体がいなくなった。
- 紙媒体での保存の必要がなくなったため、書類の整理が楽になった。すぐに他の教員に情報が共有できる。市内の教員とも連絡がとれる。
- 紙媒体の仕事が、PCでできるようになったこと。
- 紙に印刷しなくても情報を共有できるところ。
- 学校内でできることと、持ち帰ってする仕事と分けて考えている。
- 処理が早くなった。

中学校

- 出欠管理（日々の記録、通知票や要録とのリンクなど）の負担が軽減した。
- 転校してきた生徒に対する情報の収集と対応方法について考える時。
- 出席簿に記入せず、入力で管理できるようになったので、学期末に欠席や遅刻数を数える手間が減りました。
- これまでは電話のみだった学外とのコミュニケーションがさらに円滑になった
- 自分自身の勤務状況の管理が楽になった。
- 書く手間が減った。直感的にわかりやすい。



高校

- 成績関係の書式が統一されたので、管理しやすく、勤務校が変わっても戸惑わない。くらいです。
- データとして残せるので過去の出欠確認がしやすい。
- 成績処理が待たずに同時にできる。
- 今まで分散していた情報がひとまとめになり、管理しやすい。
- 連絡事項を共有できるので、朝の職員朝礼の短縮ができ、余裕ができた。
- 指導要録や調査書がデジタル化された。
- 事務作業の効率化。
- 重複作業が削減されたように思う。
- セキュリティ面では強固になったと思う。
- 特別教室などの予約状況が見やすく、予約もしやすくなった。

特別支援学校

- 教員間でデータの共有がしやすくなった。
- 校内でのセキュリティの安心感を感じた。
- これがきっかけでPCが職員全員に付与された。

統合型校務支援システムで効率化したい業務

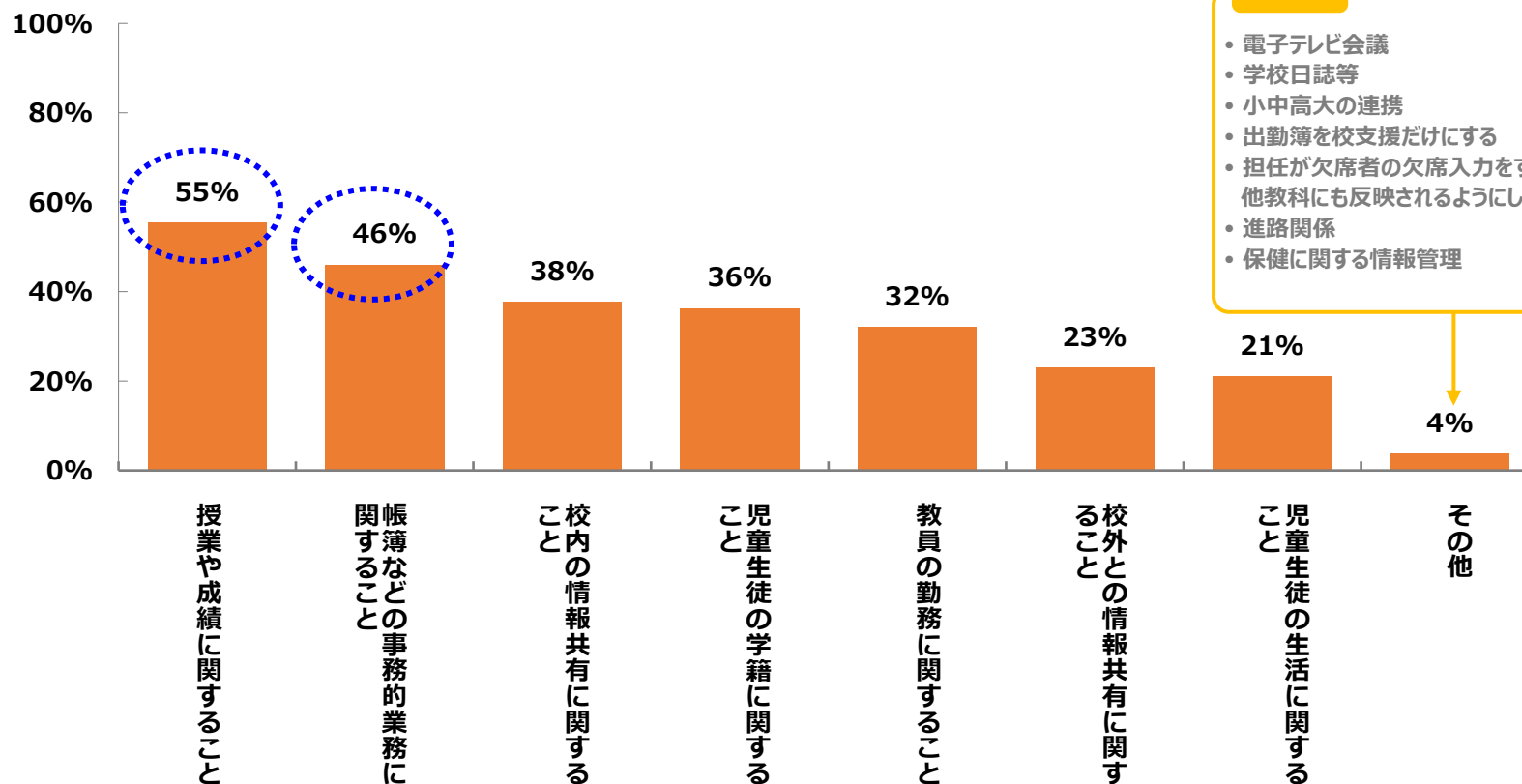
新

全回答者

- 授業や成績に関すること **55%**
- 帳簿などの事務的業務に関すること **46%**

Q.統合型校務支援システムでさらに効率化したい業務はありますか。あてはまるものをすべてお選びください。（いくつでも）

※全24コメントより抜粋



- その他
- 電子テレビ会議
 - 学校日誌等
 - 小中高大の連携
 - 出勤簿を校支援だけにする
 - 担任が欠席者の欠席入力をする、他教科にも反映されるようにしてほしい
 - 進路関係
 - 保健に関する情報管理

n=1,956

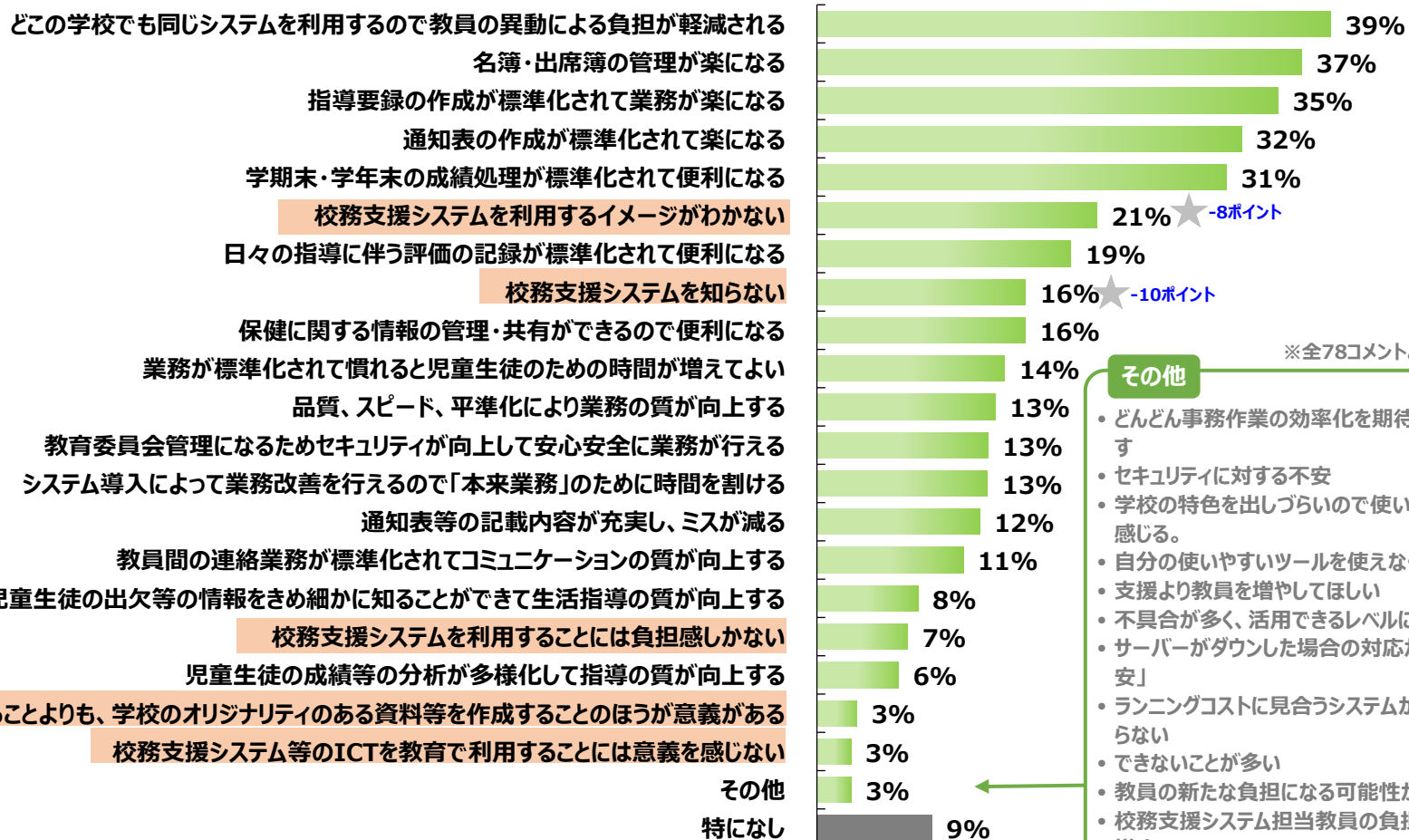
※統合型校務支援システムを利用している方

統合型校務支援システムへの期待・不安

全回答者

➤ 同じシステムを利用することで異動時の負担が軽減される **39%**

Q.現在、奈良県では、奈良県内のすべての公立学校で統一して利用する統合型校務支援システムの導入を推進しています。学校を超えて帳票などを標準化して活用していくことについてどのように感じますか。あてはまるものをすべてお選びください。(いくつでも)



- ※全78コメントより抜粋
- その他**
- どんどん事務作業の効率化を期待します
 - セキュリティに対する不安
 - 学校の特色を出しづらいので使いにくく感じる。
 - 自分の使いやすいツールを使えなくなる
 - 支援より教員を増やしてほしい
 - 不具合が多く、活用できるレベルにない
 - サーバーがダウンした場合の対応が不安
 - ランニングコストに見合うシステムかわからない
 - できないことが多い
 - 教員の新たな負担になる可能性がある
 - 校務支援システム担当教員の負担は激増する
 - 管理運用が個人に集中する

n=3,845

…否定的な選択肢

統合型校務支援システムの活用について

新

校務システム
導入済の学校

Q.校務支援システムについて、ご意見やご要望がありましたら自由にお書きください。

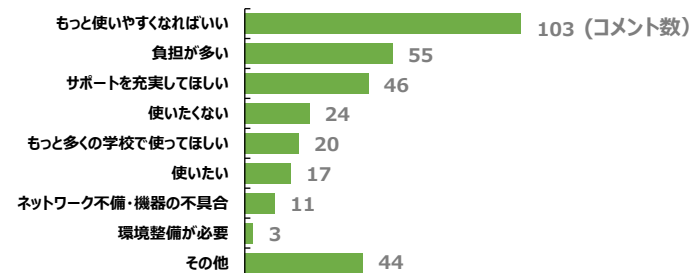
※全323コメントより抜粋

小学校

- クラウドの活用など、必要な時には校外でも仕事ができるようにしてほしい。
- 誰にでも扱いやすいものを期待する。
- 県の全ての公立学校での導入がなければ、意味がない。導入するのであれば、**早期にお願いしたい**。
- 異動先でスムーズに使えるよう、**より一層早く全学校で導入を進めてほしい**。
- 本システムには**可能性があり、利用すれば利用するほど有用感が増す**ように感じている。
- **是非進めてください！**ただ進めする側の人間はかなりしんどいと思います！その配慮が学校で必要かと！
- **積極的に活用していきたい**と思います。出席簿だけでも、かなり時間の削減になっています。
- **作業を効率よくできるものがあれば、どんどん推進してほしい！**
- パソコンが得意な教員にとっては大変便利であるが、パソコンが苦手な教員にとっては、**大変ハードルが高い**。
- 古いパソコンだとすぐ固まってしまうので**パソコンの機能も上げる**必要がある。
- なんでも画面で処理しようとしすぎるあまり、**教員通しのコミュニケーションがなくなっている**。

中学校

- 生徒に配布する学習成績などの**デザインの編集ができるようになれば**良いと思う。
- 学校ごとの**代表者が集合して研修する機会**を多く持ち、それを学校に持って帰り、広めていく必要があると思います。
- 導入するなら**県下一斉に導入**してほしい。そうしないと使用することの効率化には結びつかないと思います。
- 校務支援システムの導入による**負担が増えている**。まずは重複している事務処理を統合化し、同様の作業による負担を減らしてほしい。
- つかいこなせるまでは、わかる人に聞かなければならなかったり、入力に返って時間がかかったり、**負担に感じることも多い**。
- 使い方についての、できるだけ**簡素な概要マニュアル冊子を作成**したい。
- **全然支援になっていない**。使い方を知ったところで作業効率が上がったという実感が全く持てない。やめるべき。
- メリットより**デメリットしか感じません**。
- **セキュリティは大丈夫なのか？**また、情報の管理は適正にされるのか？



高校

- 担任しか閲覧できない情報が多いので**副担任も閲覧できるように**してほしい。
- 業務の効率化を図り、教職員間の情報共有を促進し、**教育の質を向上させるものであることを望みます**。
- 学期ごとの授業の欠課時数を、**自動でカウントできる機能や時間割変更を自動で処理する機能が**あればとても役立つと思う。
- **もっといろんな新しいことを導入していけばいい**と思う。**新しいことをすることを億劫にならずに、どんどん取り入れていけばいい**と思う。
- 担当業者が**頻繁に仕様を変更してほしい**。
- 導入のメリットよりも、**負担感の方が大きすぎる**。
- **ヘルプデスクの対応が悪い**。こちらの責任があるような発言や対応の遅さ。賢者については、システム自体に問題がありすぎる。ここでは書き表せない。
- **現場を知らない者が作ったひどいシステム**。
- **システムの障害が多い**。
- 多くの人が一斉に使うと**処理速度が落ち、ストレスがたまる**。

特別支援学校

- **業務改善につながるものになってほしい**。
- **早く整備していただき、活用できるようにしてもらいたい**。
- 使いこなせるかどうかや、**変化のある動きについて行けるか不安**。
- 利用にあたり、**分かりやすい説明があるとありがたいです**。

統合型校務支援システムの活用について

新

校務システム
未導入の学校

Q.校務支援システムについて、ご意見やご要望がありましたら自由にお書きください。

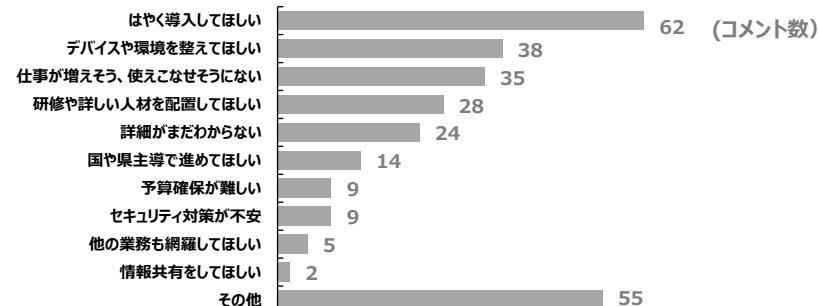
※全281コメントより抜粋

小学校

- できるだけ早く全ての市町村で導入していただきたいです。
- 導入することには大賛成だが、現場の先生の使い勝手が良いものになるように現場の声をしっかり聴いたもので実装して欲しい。
- 校務支援システム導入の前に、1日も早く教員にパソコンを与えて欲しい。
- 報告書の作成など、事務処理が効率化できるシステムを考えていただきたいと思います。
- 市町村により予算の関係で対応に差ができないように全県的に進めてほしい。
- より速くより正確に、作業や仕事が進むとうれしいが、大前提として、安全性を確保です。ほかに、情報が漏れないシステム作りが必要不可欠。
- 学校の設備がついて行っていない。
- パソコンの動作が遅すぎるので、現在使っている得点集計ソフトや成績処理ソフトでは、時間がかかりすぎるため、スムーズに動くようにしてほしい。無理なら、導入を検討するべき。
- ソフト・ハード両面で、トラブルが起きたとき迅速に対応できる人材を確保して欲しい。
- 教育現場で働く人やそこに学ぶ子どもたちが、幸せになれるシステムか？という視点や理念を常に意識して新しい仕組みは作って欲しい。効率が幸せを決めるのではないのだと思います。よろしくお願いします。

中学校

- 小中公の連携を意識した校務支援システムが県内全域で活用されるようになれば、一気に利便性がアップすると思います。大変だとは思いますが、校務支援システム導入の推進をお願いします。
- 学校のローカルルールで成績処理や事務処理が行われていることに大きな問題を感じます。早期に導入し、学校間の様々なギャップを縮めるべき。
- 働く時間が増えるイメージしかわかりません
- 導入されたときに、使用方法等の研修会を行ってほしい
- 成績処理について、学年末評定算出をどう方法で行うのかなど、具体的なことを早く示してほしい。
- 市町村負担では整備が進まない。国・県の事業として進めてもらいたい。
- 県で統一してほしい。転勤のたびに一から聞いて評価や成績をつけなければいけないから。学校によって全然違う。
- 不具合を改善してから現場におろしてほしい。
- 全ての様式を統一することは避け、学校規模等の実状や地域実状も考慮し、市町村のオリジナリティを踏まえたシステム化が必要であると思う。



高校

- 教員の業務改善のきっかけになるので1日も早くすべての学校で運用できるようにしてほしい。
- 使いづらい。端末の数が少ない。分掌用と個人用が必要。
- 特定の教員に負担が多く、導入から現在に至るまで逆に仕事が増加している。業者の対応も悪く、いい点が見つからない。
- 何かあったときに誰に聞けばよいのか？トラブル対処に関してわかりやすくしてもらいたい。

特別支援学校

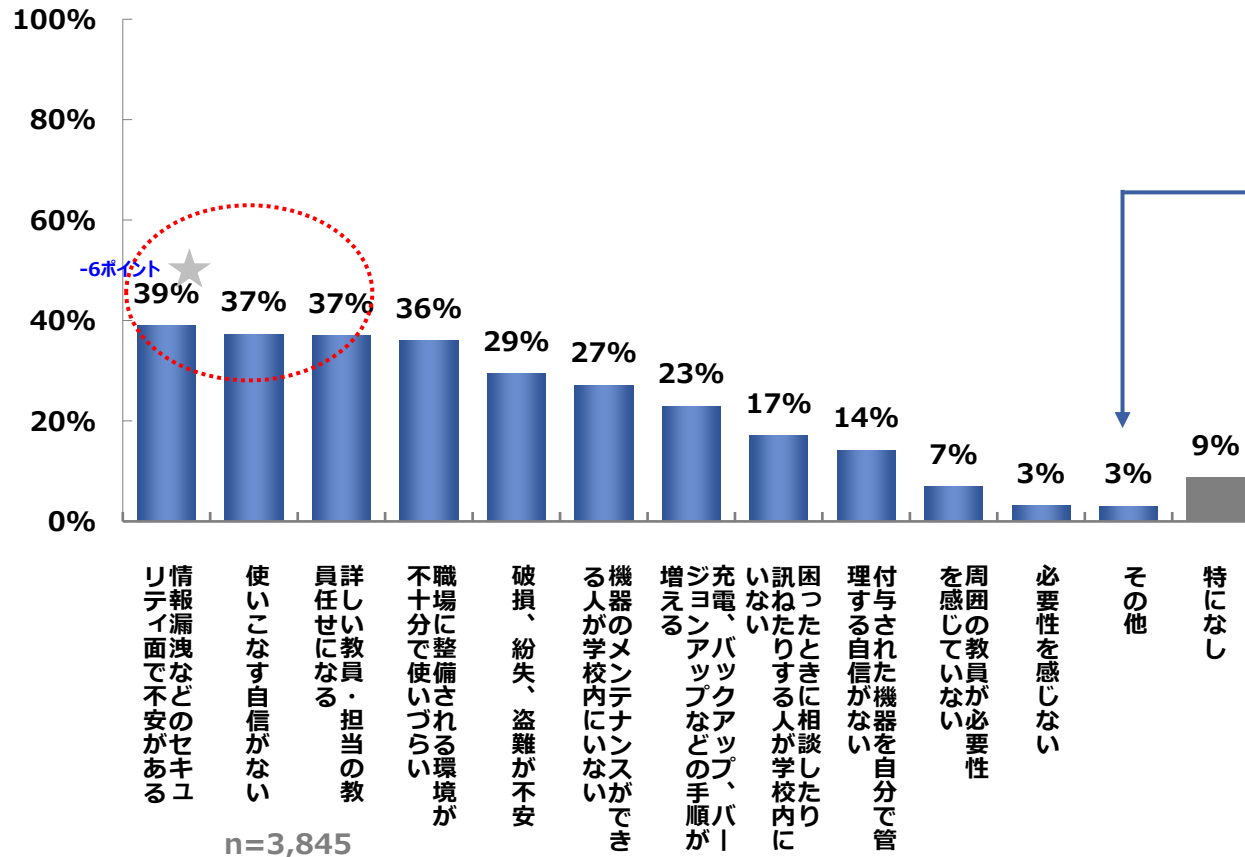
- 最初は戸惑いもあるだろうが、導入することで確実にメリットがあると考えている。1日も早く導入して欲しい。
- 機器の利用に関して、即外部の専門の業者等に尋ねることができるシステムをつくってもらいたい。
- 使いこなす自信はない。使えるまでのストレスや費やす時間がかかり必要。
- ややこしいことはわからない。毎日忙しいのに、設定などで時間がかかるのは正直しんどいです。
- システムを管理できる人がかざられるので、その方にはその仕事を専属で行い、今ある業務クラスから外していただきたい。

ICT活用への不安

全回答者

- 情報漏洩などのセキュリティ面で不安がある **39%**
- 使いこなす自信がない **37%**
- 詳しい教員・担当の教員任せになる **37%**

Q.学校教育情報化推進法が成立するなどICT環境の整備が推進されていくこととなりますが、学校でのICT機器の導入や活用について、困りそうなことや、活用が難しそうだと思うことがあればすべてお選びください。（いくつでも）



その他

※全107コメントから抜粋

- 【機器・環境の不十分さへの不安】**
- 本当に必要な数が用意されるのか。中途半端にあっても無駄になるだけだと思う。
 - 必要な児童数が配置されない。
 - ハードだけでなくソフト面の充実が不可欠。
 - メモリ不足により処理速度が遅すぎる。
 - 職場の機器の性能がが使用用途に適していない。
 - 制約が多く、使いづらい。許可がいる。
- 【負担増への不安】**
- 余計忙しくなりそう。
 - 活用の仕方を勉強し、使いこなすまで時間がかかる。
 - 他の先生からのメンテナンスや相談・質問が増える。
 - 特定の先生に軽微なトラブルの対処や質問が殺到し、その先生の仕事が滞る。
- 【予算への不安】**
- コンテンツにお金がかかりすぎる。
 - 機器の統一や今後の管理に費用がかかる。
- 【ICT化の流れへの抵抗感】**
- 何でもかんでもタブレットなどに頼って自分で考えたり、想像したり、書く力が見つからない。
 - 教員のスキルアップする意識が低い。
 - 授業でどのように使うのが有効かわからない。

I. 時間の使い方

全回答者

II. スキル習得・情報共有

全回答者

III. ICTの状況

全回答者

IV. 教職への思い/改革意識

全回答者

V. 属性別の特徴

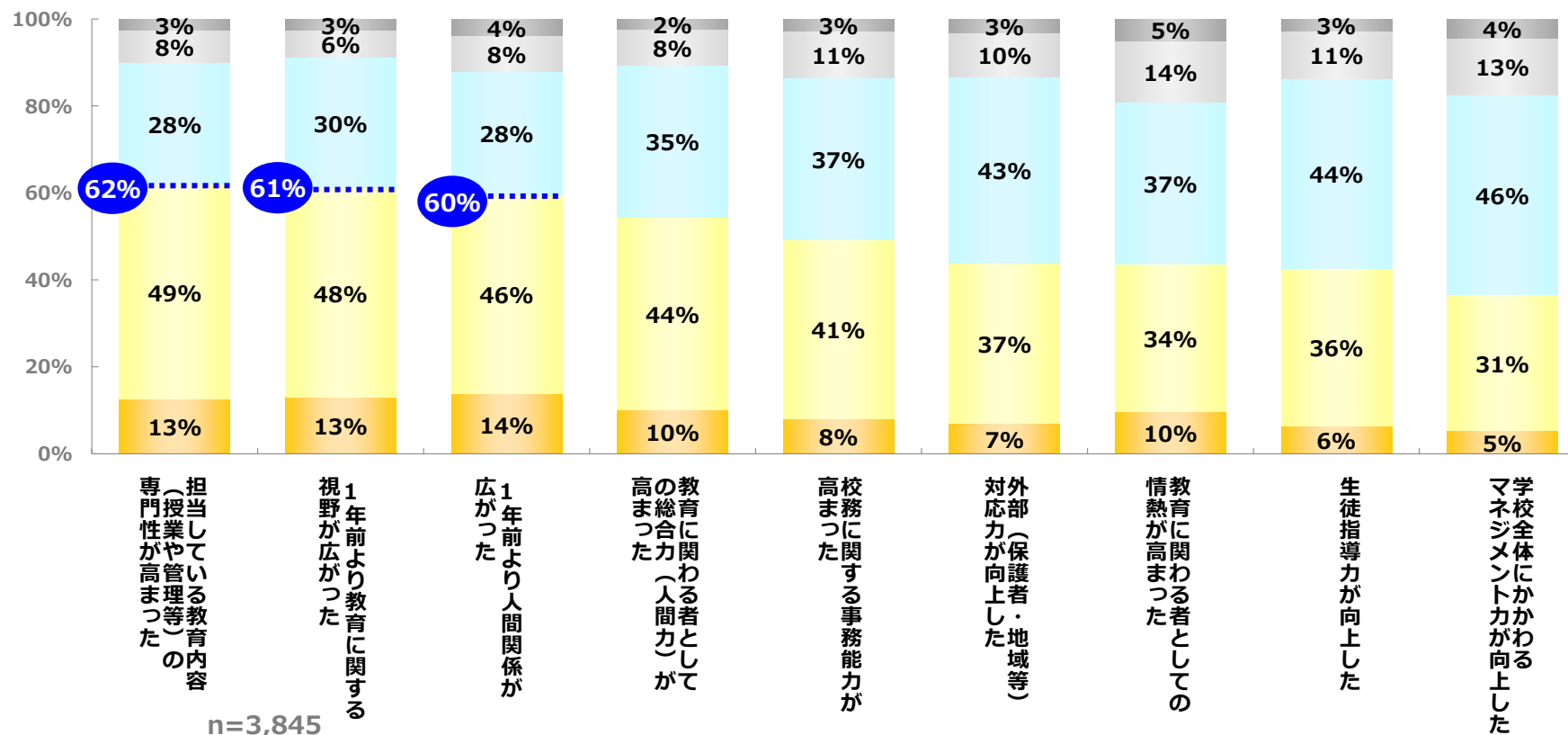
属性別

VI. 総括・ご提案

- 担当している教育内容（授業や管理等）の専門性が高まった **62%**
- 1年前より教育に関する視野が広がった **61%**
- 1年前より人間関係が広がった **60%**

Q.今年度になってからの、教員としての成長についてお聞かせください。

■ 非常にそう思う ■ ややそう思う ■ どちらともいえない ■ あまりそう思わない ■ まったくそう思わない



教員の質向上についての意見・要望

新 全回答者

Q. 教員の資質向上について、意見・要望をご自由にお書きください。

※全701コメントを分類

【時間や精神的な余裕が欲しい】

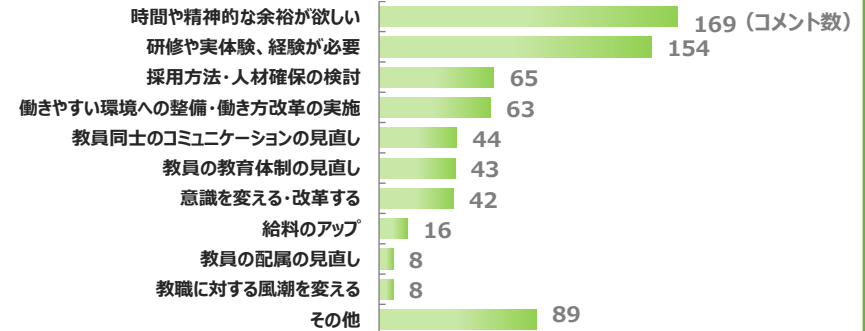
- 資質向上は教員のゆとりをもった時間確保があってこそ研修や自己学習にうちこめる。さらに教員が一定の社会経験を積む研修も必要である。
- 教材研究や生徒1人1人に合った面接練習や、志望動機の指導ができるよう、放課後の時間をもつゆとりをもって過ごしたい。
- 学習指導、授業の質を高めることに時間と工夫を費やすべきである。
- 日々の業務が過重なため、資質向上のための時間・気力を使うことが難しい。
- とにかく人が少なく生徒に向き合う時間が足りなさすぎる。もっと余裕のある授業や指導がしたい。

【研修や実体験、経験が必要】

- これからICTを使った授業や業務が増えていくので、それに対応できるように研修を進めていきたい。
- 外部へ出ることのできることを学べるので、県外出張や諸団体への学習会参加を交通費は諦めても出張扱いにして欲しい。
- 教員の民間企業へのインターンをしてはどうか。
- 有料の外部研修を受講するときの費用面の補助を熱望します。
- 教師である前に、社会人として資質を疑うような人が増えているように思う。

【採用方法・人材確保の検討】

- 採用試験の見直し。実際に1年間働いてから、採用するか不採用かを決めたら、質や意識の高い教員が残ると思う。
- 年齢のバランスを考えた採用をしてほしい。
- 現在の教員採用試験で、本当に教員に向いている人間を見極められているのか。
- 教員数を確保し、受け持つ生徒数を減らすことで、もっと質の高い教育を実現できる環境を作ってほしい。



【働きやすい環境への整備・働き方改革の実施】

- 様々な研究会・研修会を増やして、いつでも気軽に参加できる態勢が各学校に整っていればいいと思う。
- 風通しのよい職員室でありたい。失敗もみんなでカバーでき、お互いに意見交換できる人間関係に努められる職場でありたい。
- よりICTが浸透すると良い。
- 学校・人事などに大金をもっとかけてほしい。いい環境でたくさんの人で教育に取り組むことが、今後の教員の資質向上につながると思う。
- 管理的な傾向が強くなってきていることを近年強く感じる。

【教員同士のコミュニケーションの見直し】

- ノウハウを共有できるシステムがあるとよい。
- 互いに授業を公開しあったりして授業力の向上を、堅い研修ではなくて、気楽にやり取りできる場面をもっと増やしたい。
- 相談できる同僚、または先輩がいると心強く、資質向上にもつながると思う。

【その他】

- 教員養成課程での学びについて見直す必要があるように思う。
- 資質が向上したのかどうか自己評価しにくい。
- 常に目指すべきことだが、具体的に何をしたいかわからない。

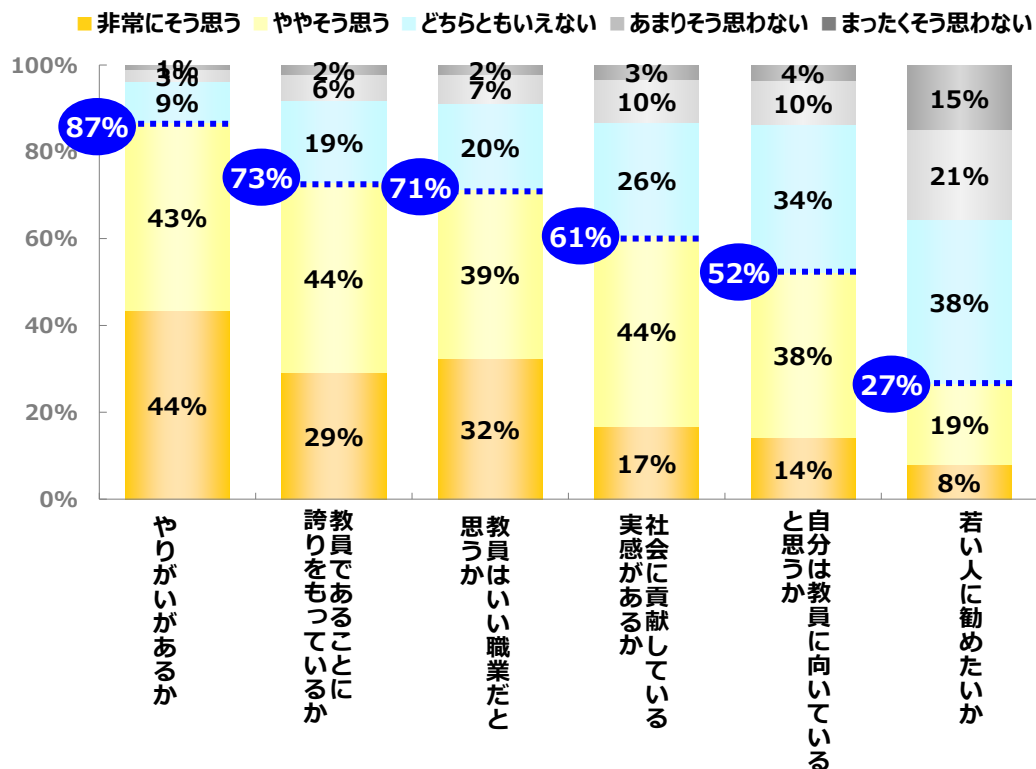
教職への想い/改革意識

全回答者

- やりがいがあり、誇りがある 一方で、若い人に勧めたいといえない
- 教員の働き方を変えたい **81%**

教職への想い

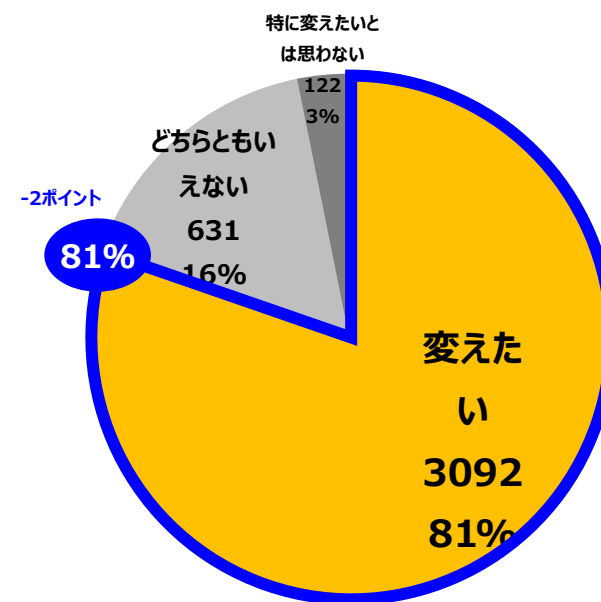
Q. 教員という職業について感じていることをお答えください。



n=3,845

改革意識

Q. 「教員の長時間労働」が問題となっていますが、あなた自身を含め、教員の働き方を変えたいと思いますか。
※実現性は抜きにしてお答えください。



教員の働き方改革についての意見・要望

全回答者

Q. 教員の働き方改革について、意見・要望をご自由にお書きください。

※全1,170コメントを分類

【業務量や内容の改善、分担】

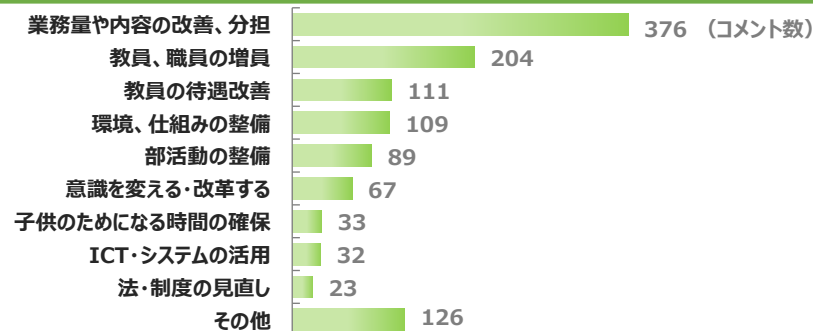
- 成績処理のある時期は提出期間が決められているものが多いので、部活動や会議、研修を控えて欲しい。
- 「いいことだからこれもやりましょう。」という発想をやめ、今までしていた仕事の精選が必要。
- ノー残業ダイの設定だけでは改善につながらない。業務内容と合わせて改善してほしい。横浜市での取り組みのようなことをしてみたいと思う。
- 教員に求められていることが多すぎて余裕をもって本来の仕事に取り組むことができない。
- やらなければいけない仕事量は増えていて負担が減っていない。
- 同じ教員ばかりに多くの業務が課せられており、残業や休日出勤を余儀なく行っている教員もいれば、定時で帰れる教員もいる。

【教員、職員の増員】

- 学校に教員に求められることが多すぎる。教員の役割をしぼり、教員以外の専門家や人材がもっと学校に関わってほしい。
- 生徒に直接関わることができる人員の大幅増員が必要です。
- 事務的な作業が多いので、直接児童の指導に関わらない業務（プリント印刷、教室掲示など）を担当する人が欲しい。
- 保護者対応を専門機関に依頼する。
- 教諭の採用人数が年代によって違いすぎて、極端に少ない世代がいることにより学校全体として負担感が増えていると思う。

【教員の待遇改善】

- ワーキングマザーへの配慮、時短勤務の充実。
- 子どものためから、「教師のため」の学校という側面がもっと増えてほしいと、教師が続けられない。
- 給与や手当が仕事量や勤務状況と見合えば納得がいく。
- 月に一度も休みがないときがあり、毎日22時まで働いていると精神的に不安になる。



【環境、仕組みの整備】

- 管理職が「帰ってください。休んでください。」と言ってくれることは、正直気が楽になるので助かる。
- 電話対応も、業務時間内とか、業務終了後2時間程度などにしてほしい。
- すべてにおいてフレキシブルにしてほしい。
- セキュリティの関係で学校でしかできない業務が多い。

【部活動の整備】

- 部活は、希望で外部指導者を入れるべき。
- 自分がやりたいクラブ活動の顧問に就けるようにしてほしい。
- 土日の部活や平日も勤務時間を過ぎての部活がある限り、働き方改革にはならない。

【その他】

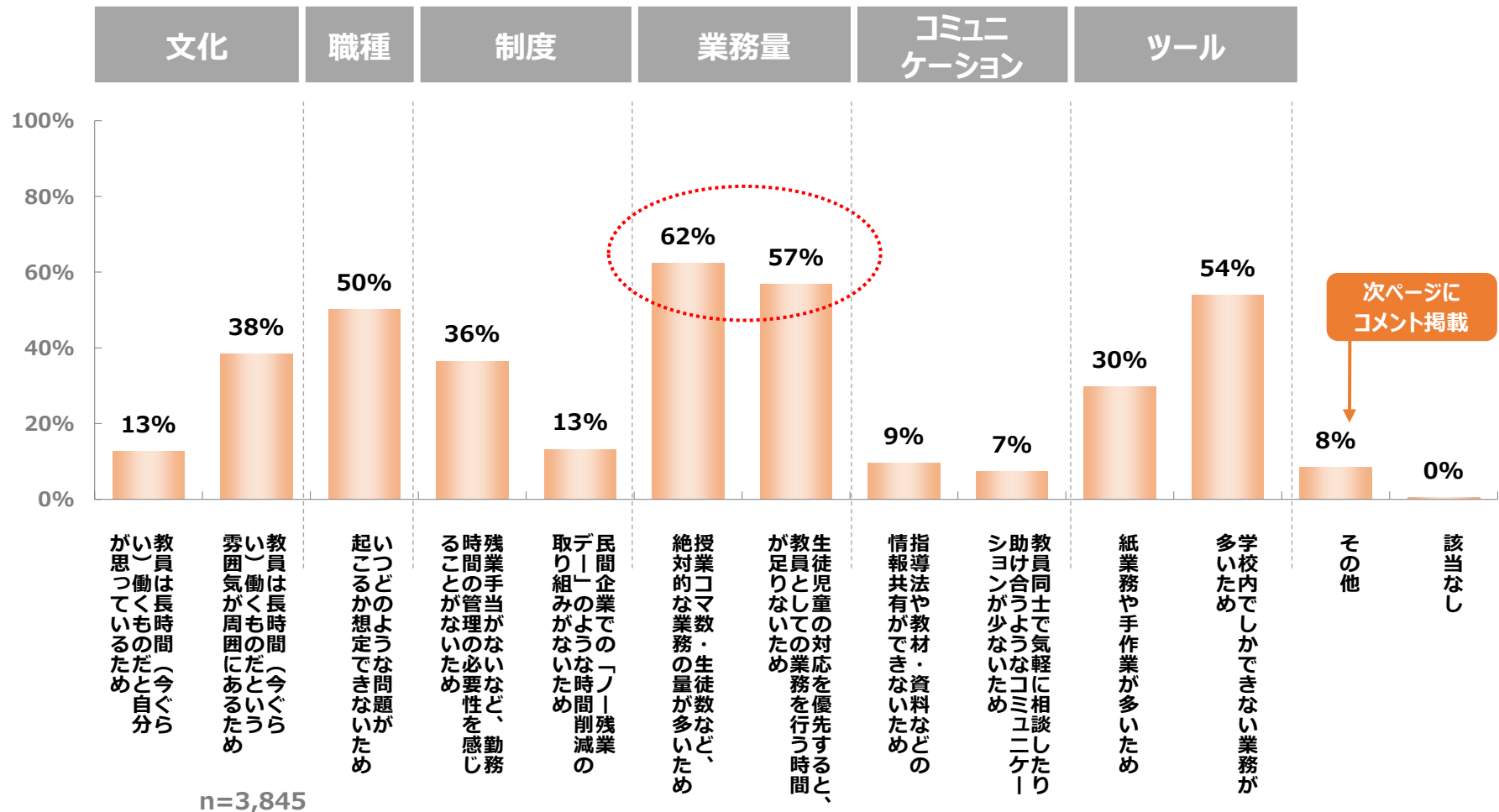
- 表面上のことで終わるのではなく、現場の実態や一般教諭の思いを汲み取ったものにしてほしい。
- 年金受給までのつなぎのための再任用制度は若い世代の成長を妨げる事がままあるので、安易な採用をしてほしくない。
- 働き方に関する法律の書物を生徒に配布している我々が、法律を全く守れていない現状に違和感を感じます。

改善が難しい理由

全回答者

- 授業コマ数・生徒数など、絶対的な業務の量が多いため 62%
- 生徒児童を優先すると、教員としての業務の時間が足りない 57%

Q.「教員の長時間労働」について、改善が難しい一般的な理由として考えられるものをすべてお選びください。(いくつでも)



改善が難しい理由（その他コメント）

※前ページの「その他」に記入されたコメントです。

全回答者

【業務量が多い】

- そもそも一人が担当する**授業時間数が多く**その準備も含め勤務時間では収まるわけがない。
- 放課後の全体と名の付く研修が多く、**業務にかかる時間がとれない**ため。
- **時間外にミーティングが設定される**ため。
- 調査・検定運営・外部団体対応など**雑務が多すぎる**。
- **業務時間外の電話対応がある**ため。17時以降は役所と同じで回線を切るべきではないか。
- **残業手当がない**ため、県は長時間労働を改善しようとしてくれない。
- 管理職は早く帰るように声をかけるが、**仕事量は軽減されていない**。
- **教員が行っている仕事の幅が広すぎる**。

【教員の数が足りない】

- **教職員不足**。
- 仕事量に対して**教員数が少ない**。
- とにかく**人が足りない**。時間を短くしてもやることは多いのです。
- 能力のある**使える人材の不足**。

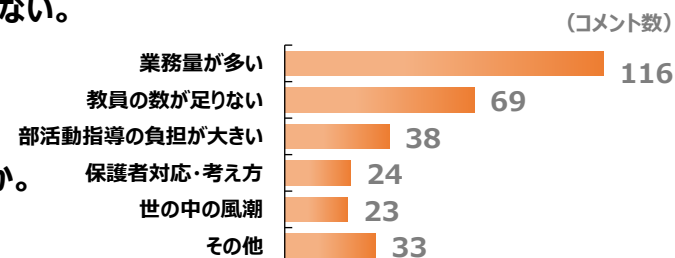
【部活動指導の負担が大きい】

- 部活動の指導で土日が**ほぼ無給でのボランティア活動**となっている。
- 土日の部活動指導とその振替休日を**確保できない**。
- 部活動時間の**確保**を生徒や保護者から求められるため。
- 部活動がある限り、勤務時間を超えて、あるいは休日に行わざるを得ない。
- **クラブ活動の専任コーチが必要**。

【保護者対応・考え方】

- なんでもかんでも学校任せ・**保護者が学校に頼りすぎ**。
- **本来家庭でやるべきこと**を学校に持ち込むため。
- 生徒だけでなく**親の対応に時間がかかる**。
- 保護者との連絡が、**夜遅くしかつかない**ため。

※全304コメントから抜粋



【世の中の風潮】

- 子供の全てを**学校が何とかしなければ**という考え方が蔓延しているため。
- **クラブ指導は教員の仕事**、残業や休日出勤は**当たり前**、という風潮があるから。
- 社会全体に、学校や教員に**これくらいのことを求めて当然**という認識があり、**様々な要求に応えることを求められる**ため。
- **教育公務員特例法**。
- **昭和の考えが改善されていない**ため。

【その他】

- 電話対応、印刷、郵送等の**事務的な誰でも出来る内容まで教員がしない**といけなため。
- **仕事をしない人とする人が分かれてる**から。
- 目前の生徒の指導を大切にすれば、**時間を気にしてはられない**。
- 管理職や教育委員会が**本気で働き方改革に力を入れている**から。
- **パソコンが1人一台ない**。手書きの通知表と要録。

I. 時間の使い方

全回答者

II. スキル習得・情報共有

全回答者

III. ICTの状況

全回答者

IV. 教職への思い/改革意識

全回答者

V. 属性別の特徴

属性別

VI. 総括・ご提案

時間の使い方（属性別平均）

属性別

		回答数	学校に来る・出るタイミング		※1 学校滞在時間	土日祝日の休養率	有給休暇取得日数	年間の休日数	
			業務開始前	業務終了後					
全回答者		3,845	54分前	1時間56分後	11時間22分	66%	8.6日	88.3日	
学校種別	小学校	1,590	57分前	1時間55分後	11時間23分	78%	9.5日	103.7日	
	中学校	958	53分前	2時間09分後	11時間34分	48%	7.2日	65.3日	
	高等学校（全日制）	838	54分前	1時間59分後	11時間25分	54%	8.1日	73.3日	
	高等学校（定時制・通信制）	73	48分前	1時間02分後	10時間20分	85%	10.6日	113.4日	
	特別支援学校	344	54分前	1時間34分後	10時間58分	84%	9.6日	110.9日	
	その他	42	32分前	1時間02分後	10時間25分	79%	8.6日	103.7日	
部活顧問	顧問あり全体	1,856	52分前	2時間01分後	11時間23分	53%	8.4日	72.8日	
	顧問の詳細	運動部の主顧問	564	59分前	2時間16分後	11時間45分	36%	7.4日	51.4日
		運動部の副顧問	823	50分前	1時間58分後	11時間19分	55%	8.7日	75.6日
		文化部の主顧問	447	50分前	1時間59分後	11時間19分	64%	8.8日	86.1日
		文化部の副顧問	452	48分前	1時間45分後	11時間05分	65%	9.0日	87.5日
なし	1,487	57分前	57分後	11時間22分	78%	8.9日	102.8日		
役職	管理職	445	1時間18分前	2時間26分後	12時間14分	63%	4.3日	80日	
	常勤の教員	3,315	52分前	1時間53分後	11時間16分	66%	9.3日	88.9日	
	非常勤の教員	85	42分前	1時間02分後	-	85%	7.2日	110日	
担当	担当している	1,823	56分前	2時間03分後	11時間29分	65%	8.7日	86.9日	
	していない	2,022	53分前	1時間50分後	11時間16分	67%	8.6日	89.6日	
担任	主担任	1,754	54分前	2時間02分後	11時間27分	65%	9.2日	87.3日	
	副担任	729	51分前	1時間50分後	11時間12分	60%	8.9日	82.1日	
	していない	1,362	57分前	1時間52分後	11時間23分	70%	7.8日	93.0日	

※1 非常勤の教員をのぞいて計算しています
 ※赤字・・・ワースト2、薄赤字・・・平均より低い

V. 属性別の特徴

部活顧問あり

管理職

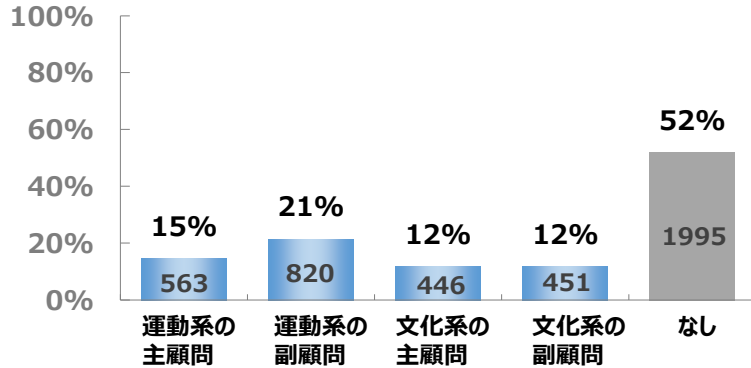
小・中・高校

勤務時間外の部活・クラブ活動

部活顧問あり

顧問の有無

n=3,845



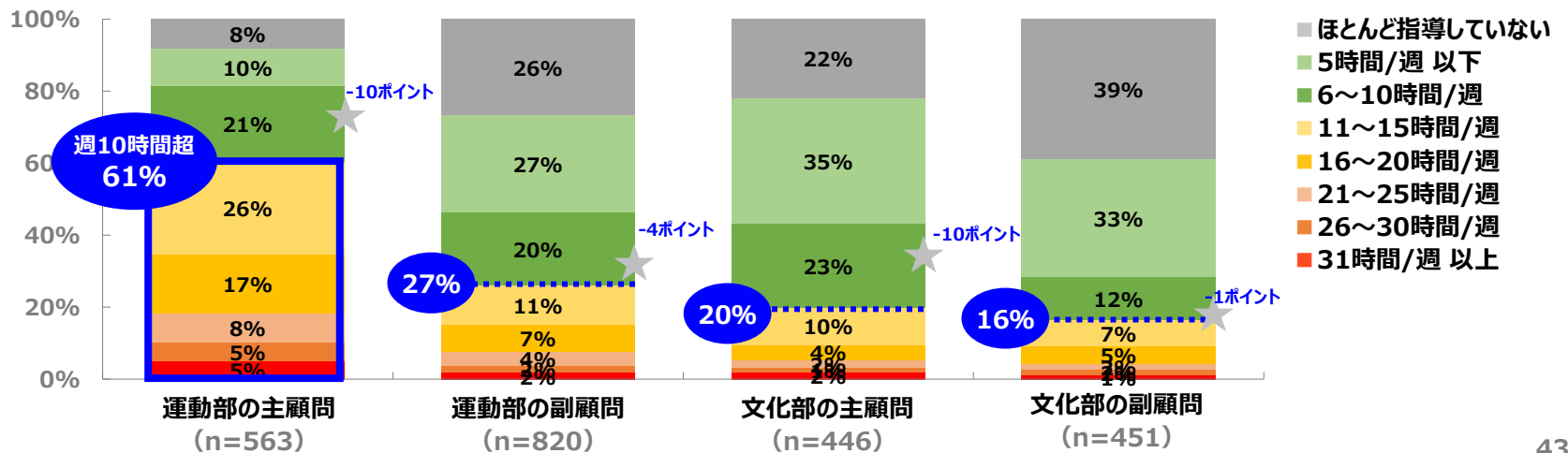
運動部の主顧問をもつ教員

勤務時間外の部活動・クラブ活動

- 週10時間超 **61%**
- 月の推定平均 **52.5時間**

勤務時間外の部活動・クラブ活動

Q. 顧問をしている方に、通常授業のある1週間（月曜日～日曜日）についてお伺いします。
勤務時間外に、週あたり平均何時間程度「部活動・クラブ活動」を行っていますか。



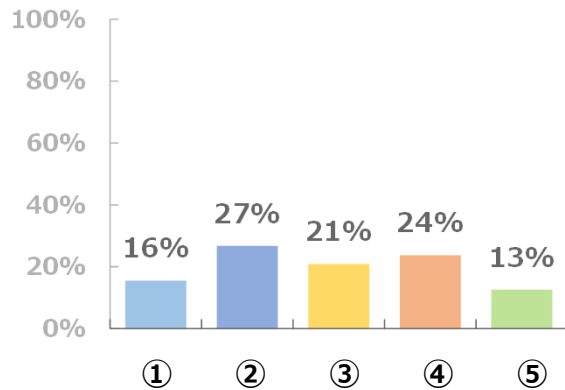
部活動・クラブ活動について（時間/負担感ほか）

部活顧問あり

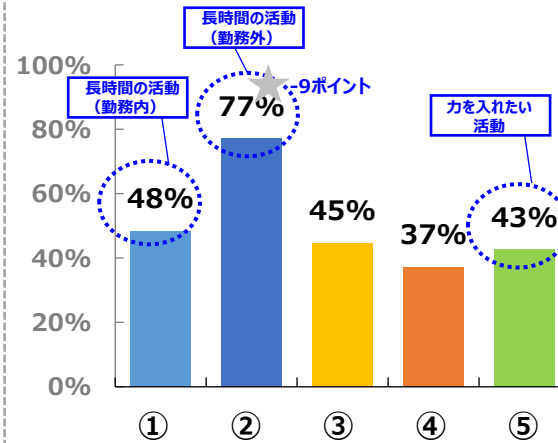
運動部の主顧問

負担となっているが、力を入れたいと思う先生も4割いる

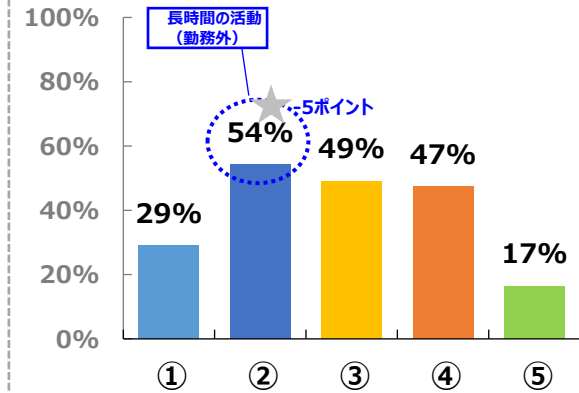
全回答者（n=3,845）



運動部の主顧問（n=563）

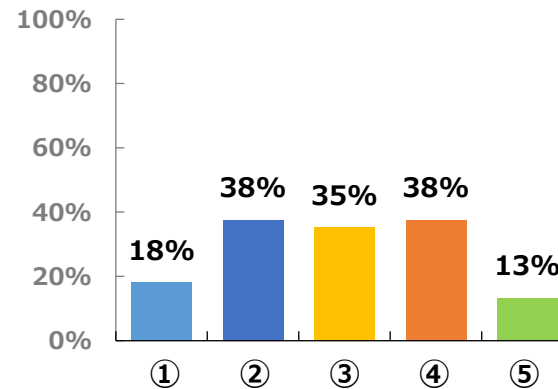


運動部の副顧問（n=820）

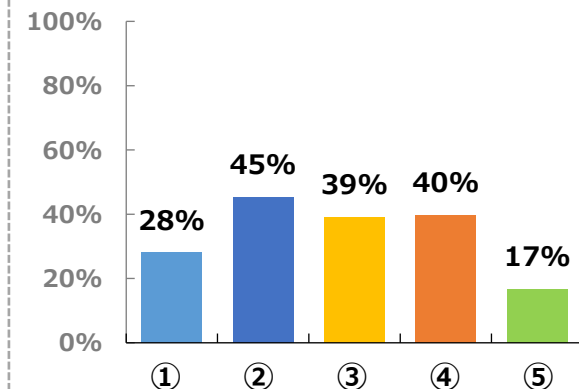


- ① 長時間の活動（勤務時間内）
- ② 長時間の活動（勤務時間外）
- ③ 負担を感じている活動
- ④ 時間を減らしたい活動
- ⑤ 力を入れたい・時間をかけたい活動

文化部の副顧問（n=451）



文化部の主顧問（n=446）



V. 属性別の特徴

部活顧問あり

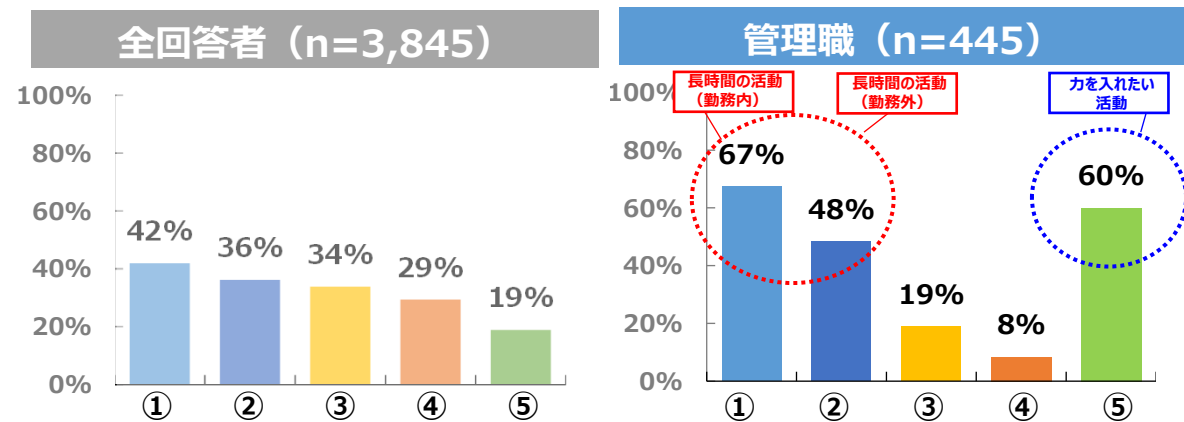
管理職

小・中・高校

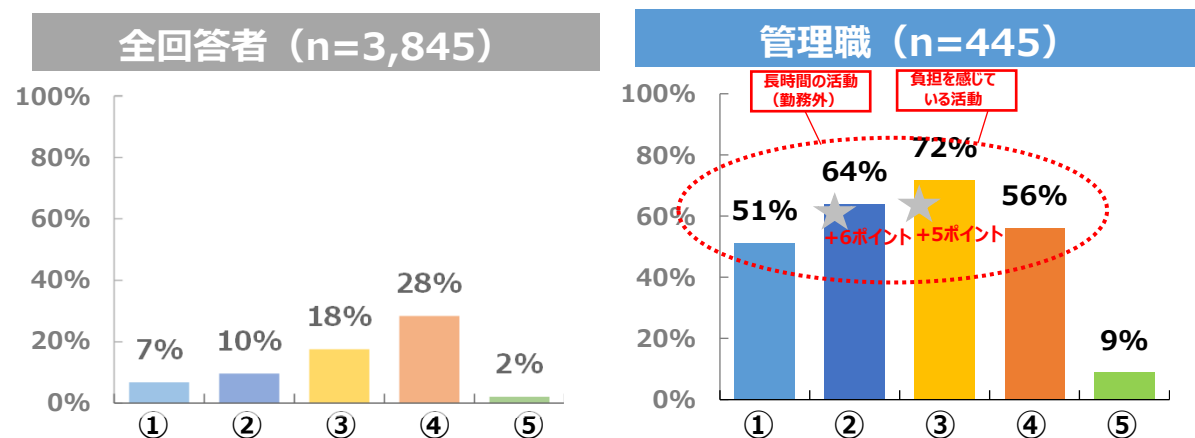
➤ 学校経営に力を入れたい

➤ PTA・地域・行政・関係団体対応が負担となっている

学校経営（校務分掌に関すること）について



PTA・地域・行政・関係団体対応 について



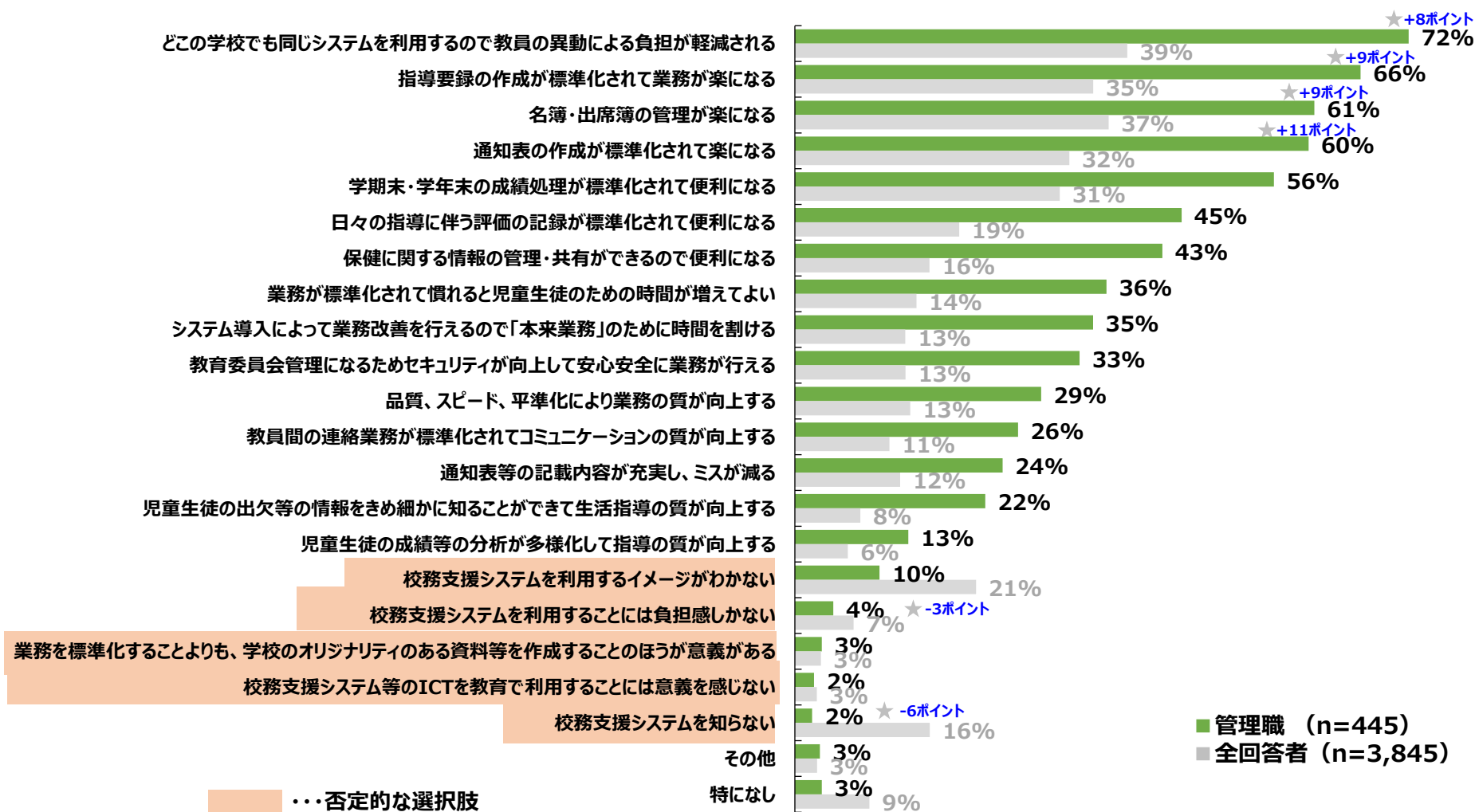
- ① 長時間の活動（勤務時間内）
- ② 長時間の活動（勤務時間外）
- ③ 負担を感じている活動
- ④ 時間を減らしたい活動
- ⑤ 力を入れたい・時間をかけたい活動

統合型校務支援システムへの期待・不安

管理職

▶ 期待感の項目について、全体集計よりも10～30ポイント高い

Q.現在、奈良県では、奈良県内のすべての公立学校で統一して利用する統合型校務支援システムの導入を推進しています。学校を超えて帳票などを標準化して活用していくことについてどのように感じますか。あてはまるものをすべてお選びください。(いくつでも)



V. 属性別の特徴

部活顧問あり

管理職

小・中・高校

統合型校務支援システムの導入状況

小・中・高校

➤ 統合型校務支援システムを導入している

小学校

54%

中学校

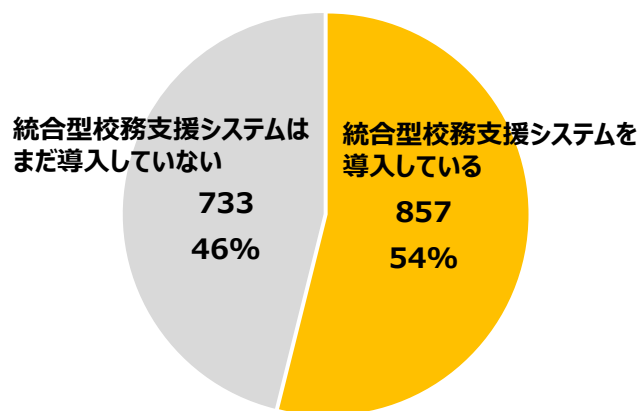
49%

高校

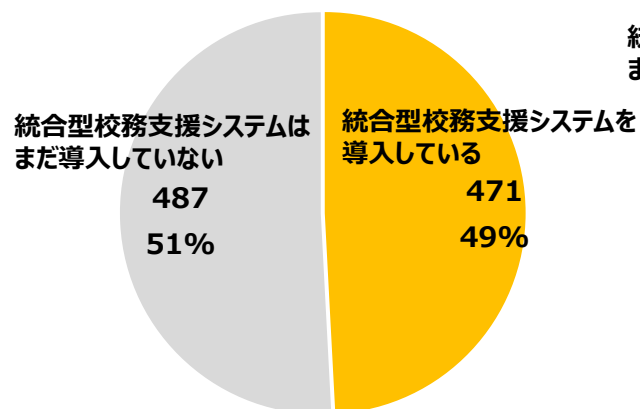
69%

Q. あなたが主に勤務している学校では統合型校務支援システム（グループウェアのみの利用は含みません）を導入していますか。
以下「統合型校務支援システム」に関する回答は、グループウェア機能も含めてお答えください。

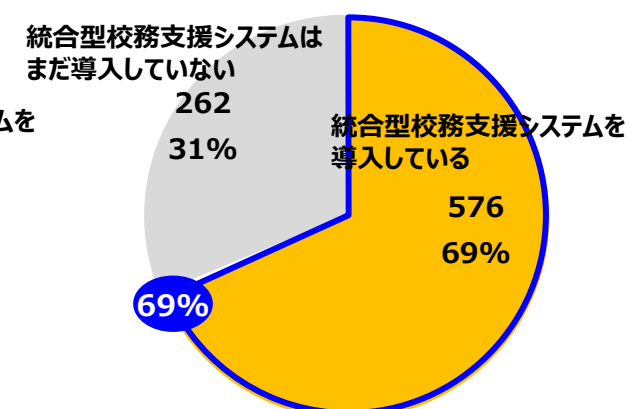
小学校 (n=1590)



中学校 (n=958)



高校 (n=838)



統合型校務支援システムの利用状況

小・中・高校

➤ 統合型校務支援システムを毎日利用している

小学校

72%

中学校

69%

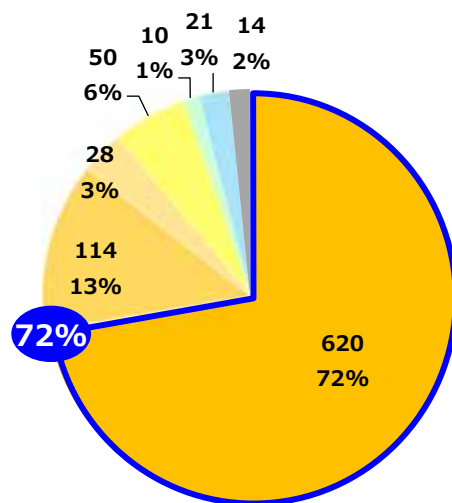
高校

37%

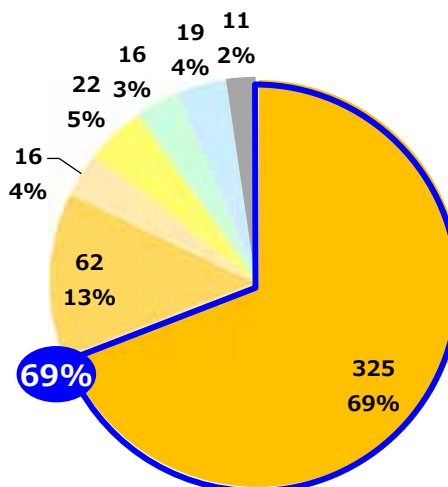
Q. 統合型校務支援システムの利用頻度をお選びください。

■ 毎日 ■ 1週間に数回 ■ 1週間に一度 ■ 1ヶ月に数回 ■ 1ヶ月に一度 ■ それ以下の頻度 ■ 利用したことがない

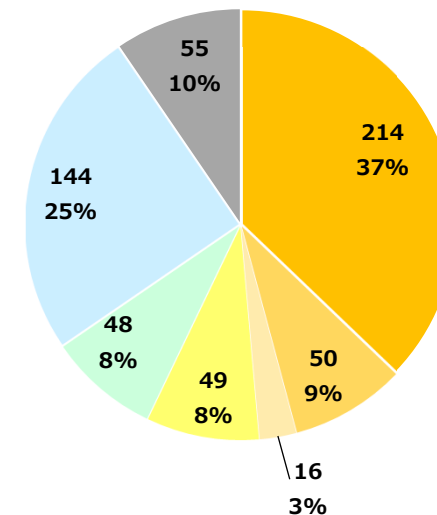
小学校 (n=843)



中学校 (n=460)



高校 (n=521)

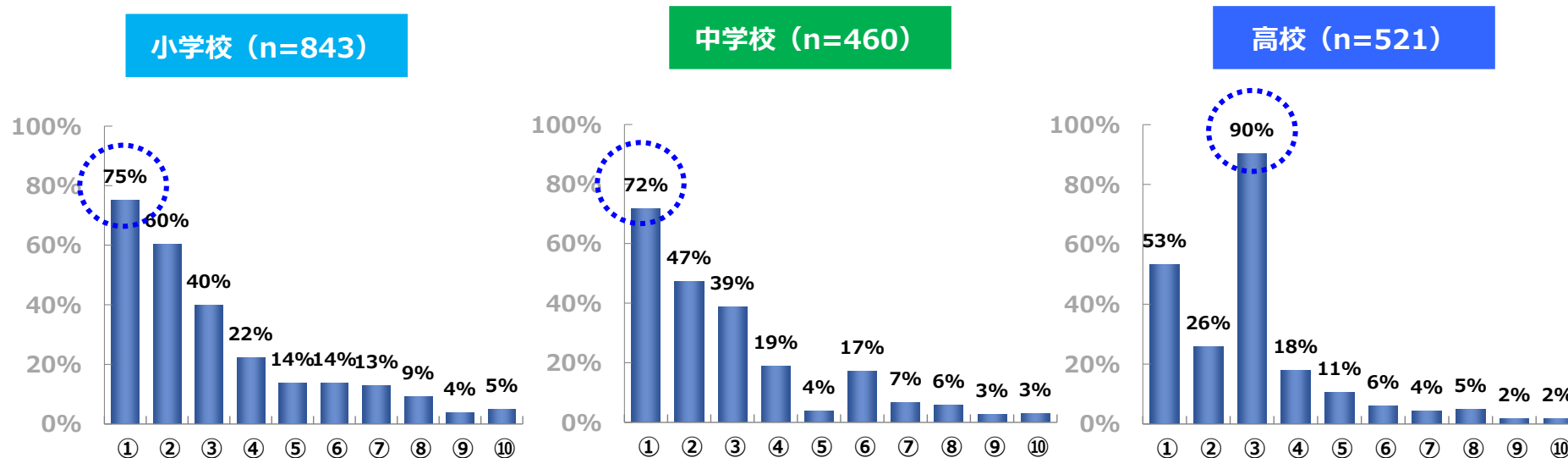


統合型校務支援システムの利用機能

小・中・高校



Q.統合型校務支援システムで利用している機能をすべてお選びください。(いくつでも)



- ① 出欠管理 ② グループウェアによる教員間の情報共有 ③ 成績処理 ④ 校務文書に関する業務 ⑤ 施設などの管理 ⑥ 日常の学校活動の記録
- ⑦ 保健に関する情報管理 ⑧ 時間割などの授業の管理 ⑨ 家庭や地域への情報発信 ⑩ その他

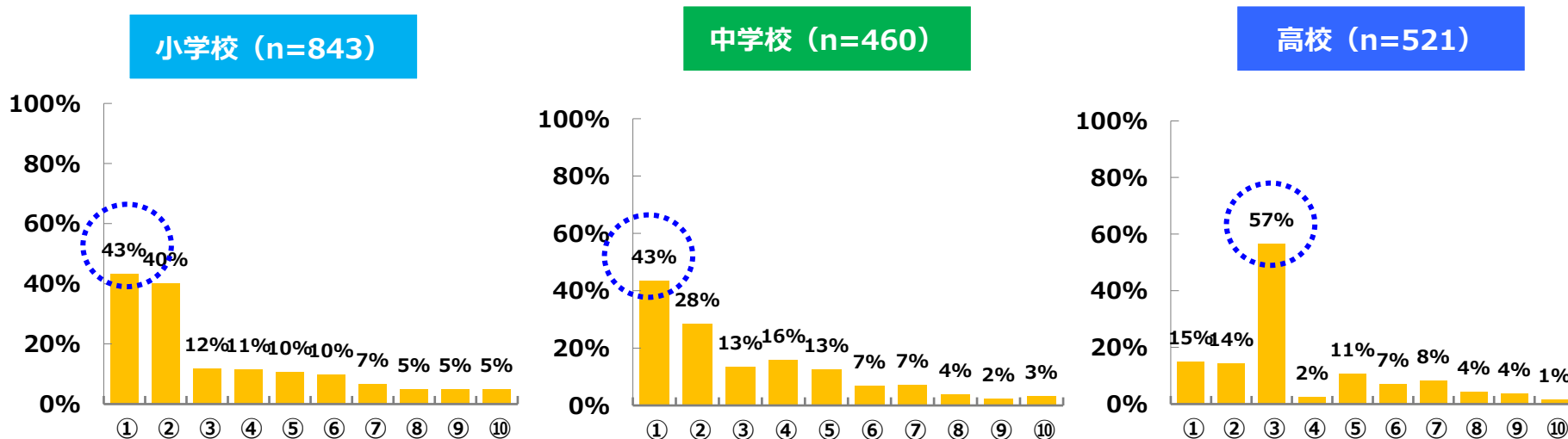
統合型校務支援システムの利用効果

小・中・高校



情報共有ができ、児童生徒の指導に活かした校務系ネットワークの運用によりセキュリティが向上した

Q.統合型校務支援システムを導入してよかったこと、便利になったことは何ですか。あてはまるものをすべてお選びください。（いくつでも）



- ①出席や学籍に関する情報共有ができ、児童生徒の指導に活かせるようになった
- ②グループウェア等で情報を共有でき業務負担が軽減した
- ③校務系ネットワークの運用により学校のセキュリティが向上した
- ④学校外との連絡業務が改善された
- ⑤帳票等が平準化されたので教務に関する準備段階の業務が改善された
- ⑥学力をすぐに把握できるので、成績変化に応じた指導が可能になった
- ⑦各教科の評価について、教員間で理解を深めることができるようになった
- ⑧業務の平準化により、教育の質の向上ができた
- ⑨担任と担任以外の職員のコミュニケーションが以前より深まった
- ⑩教材研究など本来の業務にウエイトを置くことができるようになった

I. 時間の使い方

全回答者

II. スキル習得・情報共有

全回答者

III. ICTの状況

全回答者

IV. 教職への思い/改革意識

全回答者

V. 属性別の特徴

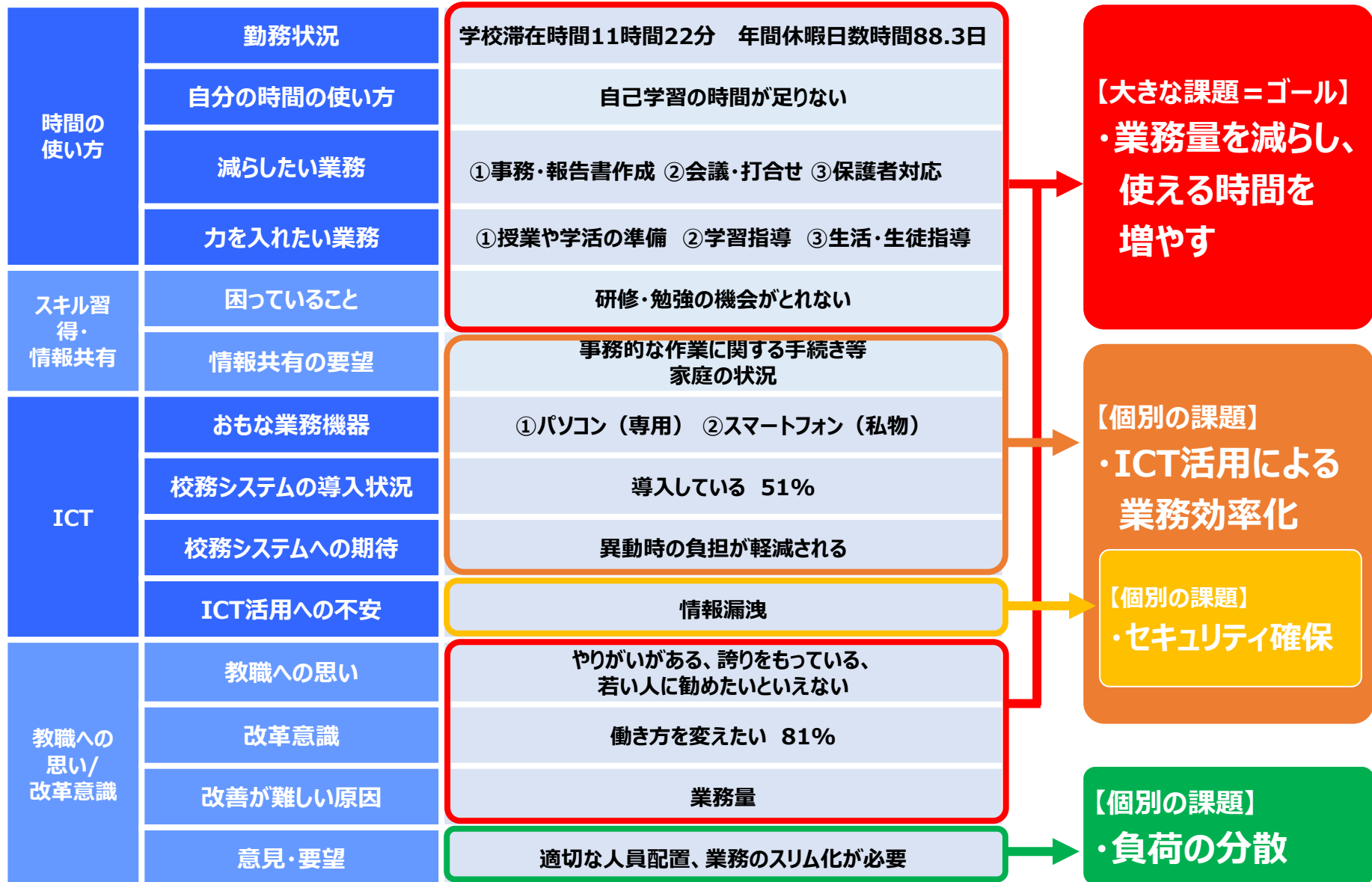
属性別

VI. 総括・ご提案

総括（再掲）

時間の 使い方	勤務状況	学校滞在時間11時間22分 年間休暇日数時間88.3日
	自分の時間の使い方	自己学習の時間が足りない
	減らしたい業務	①事務・報告書作成 ②会議・打合せ ③保護者対応
	力を入れたい業務	①授業や学活の準備 ②学習指導 ③生活・生徒指導
スキル習得・ 情報共有	困っていること	研修・勉強の機会がとれない
	情報共有の要望	事務的な作業に関する手続き等 家庭の状況
ICT	おもな業務機器	①パソコン（専用） ②スマートフォン（私物）
	校務システムの導入状況	導入している 54%
	校務システムへの期待	異動時の負担が軽減される
	ICT活用への不安	情報漏洩
教職への 思い/ 改革意識	教職への思い	やりがいがある、誇りをもっている、 若い人に勧めたいといえない
	改革意識	働き方を変えたい 81%
	改善が難しい原因	業務量
	意見・要望	適切な人員配置、業務のスリム化が必要

総括 (再掲)



今後のアクション

ICT活用	力を入れたい業務の支援	<ul style="list-style-type: none">・統合型校務支援システムによるスキル・ノウハウ・情報の共有<ul style="list-style-type: none">⇒ ほかの先生の教材や指導法を参照（電子化とファイル共有）⇒ ほかの先生に質問しやすい環境（教員向けSNS+スマートデバイス）
	負担を減らす	<ul style="list-style-type: none">・統合型校務支援システムによるデジタル化による情報共有<ul style="list-style-type: none">⇒ 事務、報告書 など 書式の電子化・ファイル共有⇒ 会議・打合せの資料を電子化・ファイル共有⇒ 業務手順を電子資料化しファイル共有
ICT活用以外		<ul style="list-style-type: none">・増員の検討（国・県レベルの改革）・負荷の分散<ul style="list-style-type: none">⇒ 役割分担の見直し（部活、PTA・地域・行政・関係団体対応）⇒ 教員以外への業務委託（部活指導、ICT管理、セキュリティ対策、業務時間外の保護者対応 など）